

# 使用説明書

安全上のご注意	1
はじめに	2
基本的な操作	3
各種設定のしかた	4
LAN制御機能	5
故障かな...と思ったときは	6
付録	7

ご使用前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。  
また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。  
安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず本書の「安全上のご注意」をお読みください。

# 目次

安全上のご注意.....	2	LAN制御機能.....	66
同梱品の確認.....	22	ウェブブラウザで本機を制御する.....	66
はじめに.....	22	Projector Login.....	70
製品の各部名称.....	23	Operation & Settings.....	71
接続ポート.....	24	Date and Time.....	71
本体操作部.....	25	Schedule.....	72
リモコン.....	27	Display Status.....	73
リモコン ID の設定.....	29	System Upgrade.....	73
リモコンへの電池の取り付け.....	30	Software License.....	74
リモコンの動作範囲.....	31	Account.....	74
設置する.....	32	Network Settings.....	75
基本的な操作.....	33	Network Functions.....	75
接続する.....	33	プロジェクター管理ユーティリティで 本機を制御する.....	76
コンピューター/ノートパソコンと 接続する.....	33	故障かな・・・と思ったときは.....	82
HDBaseT の接続.....	34	付録.....	87
電源の入れかたと切りかた.....	35	対応信号一覧表.....	87
電源を入れる.....	35	端子の構成.....	95
電源を切る.....	36	端子:コンピューター入力 (D-sub 15 ピン).....	95
インジケーターによる警告表示.....	36	端子:PC 制御 (D-sub 9 ピン).....	95
投写映像を調整する.....	37	端子:音声入力/音声出力.....	96
投写映像の位置を調整する.....	37	仕様.....	97
ズームとフォーカスを調整する.....	38	外形寸法.....	98
レンズシフト.....	39	天井への取り付け.....	100
レンズシフト範囲.....	40	著作権.....	101
投写距離表.....	41	商標.....	101
各種設定のしかた.....	44		
メニューを使う.....	44		
操作のしかた.....	44		
映像.....	45		
スクリーン.....	48		
ブレンディング.....	52		
設定.....	57		
音声.....	60		
オプション.....	61		
3D設定.....	65		

# 安全上のご注意

## この本の読みかた

### 正しくお使いいただくために

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず本書の「安全上のご注意」をお読みください。

### 本書についてのご注意

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。  
機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。  
画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。  
本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

## 安全上のご注意

安全に関する注意事項を説明します。

### 本機で使用している安全記号

	一般注意
	一般表示
	一般禁止
	分解禁止
	設置接続すること
	濡れた手で接触禁止
	電源プラグをコンセントから抜く
	電源コードを引っ張らない
	子供の接触禁止
	感電注意
	高温注意
	接触禁止
	レーザー注意



# 安全上のご注意

## 表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

### ⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### ⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 表示の例

安全表示の例です。



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。  
⊘の中に具体的な禁止内容が描かれています。  
(左図の場合は、“分解禁止”を表します)



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。  
●の中に具体的な指示内容が描かれています。  
(左図の場合は、“アース線を必ず接続すること”を表します)

# 安全上のご注意

## 守っていただきたいこと

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

### 接地接続について守っていただきたいこと

#### ⚠ 警告



- 接地接続してください。接地接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。接地接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事業者に相談してください。
- 接地接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。

### 使用環境について守っていただきたいこと

#### ⚠ 警告



- この機械の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因になります。

#### ⚠ 警告



- 本製品とその付属品を幼児・子供の手の届かないところに設置・保管してください。幼児・子供の手の届くところに設置・保管すると、けがの原因となります。

#### ⚠ 警告



- 機械の近くや内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。また、機械の近くや内部に置かないでください。火災や感電の原因になります。

#### ⚠ 注意



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。

# 安全上のご注意

## ⚠注意



- この機器の上にものを置かないでください。置いたもののバランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因になります。

## ⚠注意



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

## ⚠注意



- 雨天時、降雪時、水辺など、水がかかる恐れのある環境では使用および設置をしないでください。火災や感電の原因となります。

## ⚠注意



- 排気口に手や顔を近づけないでください。排気口から熱風が出るため、やけどや事故の原因になります。

## ⚠注意



- 紙や布などのやわらかいものの上で本機を使用しないでください。吸気口に吸着して内部に熱がこもり、本機の故障、火災ややけどの原因になることがあります。

## ⚠注意



- 本機を風通しの悪い場所には設置しないでください。内部に熱がこもり火災の原因になります。

# 安全上のご注意

## ⚠注意



- 直射日光の当たる所や、熱器具などの近くなど温度が高くなる場所には、設置・保管をしないでください。熱による外装の変形や劣化、本機内部の部品へ悪影響が起こり、火災の原因となることがあります。

## ⚠注意



- 使用中は排気口近くに熱に弱いものを置かないでください。排気口から熱風が出るため、変形や事故の原因になります。

## ⚠注意



- 本機の吸気口または排気口をふさがないでください。吸気口や排気口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

# 安全上のご注意

電源プラグ、電源コードの取り扱いについて守っていただきたいこと

## ⚠ 警告



- 電源プラグは交流 100V のコンセントに接続してください。交流 100V 以外のコンセントを使用すると、火災・感電の原因となります。

## ⚠ 警告



- 表示された周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

## ⚠ 警告



- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

## ⚠ 警告



- 電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。

## ⚠ 警告



- 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。

## ⚠ 警告



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

# 安全上のご注意

## ⚠ 警告



- ・接続ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついているときは使用しないでください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。接続ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついているときはサービス実施店に交換を依頼してください。

## ⚠ 警告



- ・電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、点検してください。
  - ・電源プラグに焦げ跡がある
  - ・電源プラグの刃が変形している
  - ・電源コードの芯線の露出・断線などがみられる
  - ・電源コードの被膜に亀裂、へこみがある
  - ・電源コードを曲げると、電源が切れたり入ったりする
  - ・電源コードの一部が熱くなる
  - ・電源コードが傷んでいる
- ・上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- ・そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

## ⚠ 警告



- ・延長コードやテーブルタップを使用するときは、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードやテーブルタップの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。

## ⚠ 警告



- ・機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

## ⚠ 注意



- ・電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。また、接触不良になりやすい、ゆるくグラグラするコンセントで使わないでください。発熱の原因になります。電源コードは根元まで正しい向きでしっかり差し込んでください。発煙、発火、火災、感電の原因になります。

# 安全上のご注意

## ⚠ 注意



- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## ⚠ 注意



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

## ⚠ 注意



- 電源プラグは年に 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

## ⚠ 注意



- お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

## ⚠ 注意



- 電源コードや接続ケーブルは足を引っ掛けて転倒したりしないように配線してください。本機が落下してけがの原因となることがあります。

本体の取り扱いについて守っていただきたいこと

## ⚠ 警告



- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなど異常状態が見られるときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

# 安全上のご注意

## ⚠ 警告



- 万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入ったときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

## ⚠ 警告



- 近くで落雷が発生しているときは、本機に触らないでください。感電の原因になります。

## ⚠ 警告



- ポリ袋の WARNING 表示の意味は次のとおりです。
  - 本製品に使用しているポリ袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

## ⚠ 警告



- 機械を落としたり、カバーなどを破損したときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

## ⚠ 注意



- 電源オフ直後の本機（特に排気口周りなど）は高温になっていますので触らないようにしてください。やけどの原因になることがあります。

## ⚠ 注意



- 動作時にレンズの前に物を置かないでください。物が高温になり、やけどや火災の原因になる場合があります。  
映像を一時的に消す場合にはリモコンまたは本体の AV ミュートをお使いください。



# 安全上のご注意

## ⚠注意



- 本機を他の機器に積み重ねたり、本機の上に他の機器を載せたりしないでください。本機内に熱がこもり故障の原因になるほか、他の機器へ悪影響を与えることがあります。

## ⚠注意



- 音声が出力される前に音量を上げすぎないでください。また、電源を切る前には音量を下げてください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。

## ⚠注意



- 本機を長時間連続して（10 時間 / 日を超えて）使用する場合は、あらかじめテクニカルコールセンターにご相談ください。

## ⚠注意

機械内部の取り扱いについて守っていただきたいこと

## ⚠警告



- カバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を分解・改造しないでください。火災や感電の原因になります。

## ⚠注意



- 機械内部の掃除をサービス実施店に相談してください。機械内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因になります。なお、機械内部の掃除費用については販売店またはサービス実施店に相談してください。

# 安全上のご注意

## 天吊り・壁掛け設置について守っていただきたいこと

### ⚠ 警告



- ・油煙が多い場所や薬品等が付着しやすい場所に天吊り・壁掛け設置しないでください。本機の樹脂が劣化し落下による事故の原因になります。
- ・天吊り・壁掛け設置しているときは、本機を清掃したり、部品の交換をしたりしないでください。落下によるけがの原因になります。
- ・天吊り・壁掛け設置しているときは、本機の清掃や部品の交換を販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。

### ⚠ 警告



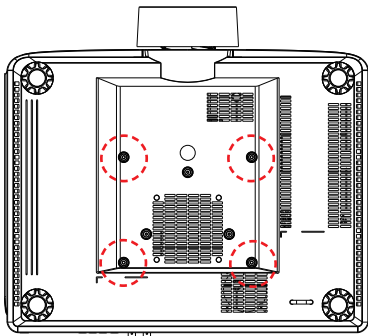
- ・本機の天吊り・壁掛け設置は、正しく設置されていないと落下などによる事故の原因となります。天吊り・壁掛け設置は、販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。
- ・本機の吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口や排気口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

### お客様へ

- ・本機を天吊り・壁掛け設置するときは、お客様ご自身でせず販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。

### 設置をされるかたへ

- ・本機の質量（約 13.5kg）に耐えられる強度の金具を使用してください。
- ・本機と金具の総質量に耐えられる強度の場所だけに設置してください。
- ・金具の取り付けには、M4 ねじ（最大ネジ長 8mm）4 本を使用してください。
- ・壁掛け・天吊り用のねじ穴は、本機底面の次の 4 か所にあります。金具の取り付けにはすべてのねじ穴を使用して、ねじがしっかりと締まっているか確認してください。



# 安全上のご注意

設置について守っていただきたいこと

## ⚠ 警告

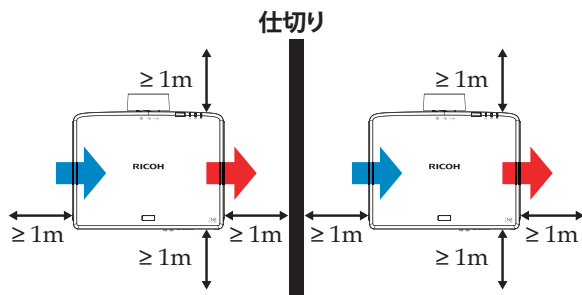


- 本機で床面への投写などを行う場合や、天吊設置する場合は、正しく固定されていないと落下などによる事故の原因となります。販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。

## ⚠ 注意



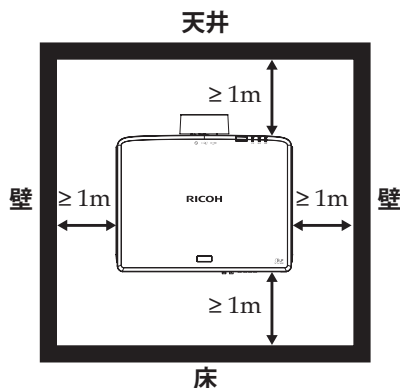
- 吸気口や排気口から壁などの間には、1m 以上のスペースを確保してください。
- また、2台並べて設置する際は、排気口からの熱風が直接吸気口に入らないように間に仕切りを設けてください。



## ⚠ 注意



- 360°設置の場合は、天井、床、壁から 1m 以上離してプロジェクターを設置してください。

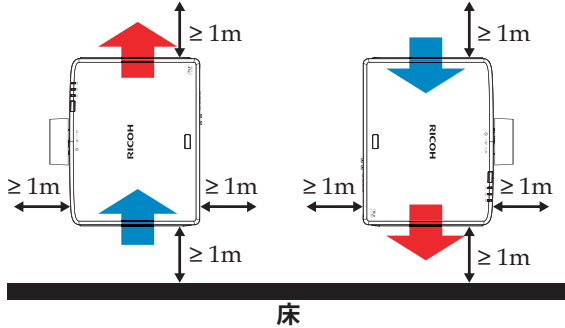


# 安全上のご注意

## ⚠ 注意



- ・プロジェクターを右側（推奨）または左側に設置するときは、吸気口と表面の間に 1m 以上のスペースを空けてください。また、排気口と表面の間に 1m 以上の空間を空けてください。



## 電池について守っていただきたいこと

## ⚠ 警告



- ・電池は、次の注意事項を守って安全に使用してください。電池の使い方を誤ると、電池の液もれや破裂により、火災やけがの原因になることがあります。
  - ・指定された電池以外は使用しないでください。
  - ・極性（+、-）を正しく入れてください。
  - ・電池は加熱したり、火や水の中に投げ込まないでください。
  - ・+極と一極を針金などで接続しないでください。
  - ・使い切った電池はリモコンからすぐに取り出してください。
  - ・長期間使用しないときは、電池を取り出してください。
  - ・種類の違う電池・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
  - ・電池を保管する場合や廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁してください。他の電池や金属製のものと混ぜないでください。

## ⚠ 警告



- ・電池は、子供の手に触れないようにしてください。リモコンの電池カバーがはずれやすいときは、リモコンの使用をやめ、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って電池を飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

# 安全上のご注意

## 電池から液がもれたときの対処

- 電池から漏れた液体には、直接、素手で触れないでください。
- 漏れた液が肌に付着したときは、すぐに水で洗い流し、医師に相談してください。
- 漏れた液が手につかないように注意してティッシュペーパーなどで拭き取ってください。
- 液を拭き取ったティッシュペーパーなどは、水を含ませてから燃えるゴミとして廃棄してください。

## 電池を廃棄するとき

- 電池を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則にしたがって処理してください。

## レーザー光源について守っていただきたいこと

### ⚠注意



- 光源が点灯中はレンズおよび通風口をのぞき込まないでください。のぞき込むと強い光により視力障害など目を傷める原因となります。特にお子様のいる環境では注意してください。

### ⚠レーザー光源の注意



- 安全基準 JIS C6802:2014、IEC 60825-1:2014 のクラス 1 レーザー製品で、IEC62471-5:2015 のリスクグループ 2 の製品です。

### ⚠注意



- この製品のカバーやねじは外さないでください。また、本機を分解・改造しないでください。危険なレーザー放射の被ばくの原因になります。

### ⚠注意



- 光源点灯中に投写光をさえぎらないでください。投写光を長時間さえぎると投写光の当たった部分が高温になり、さえぎっている物が変質・変形したり、やけどや火災の原因となることがあります。また、反射した光で投写窓が高温になり、本機の故障の原因になることがあります。投写を一時的に中断するときは AV ミュート機能をお使いください。また、長時間にわたって中断したいときは本機の電源を切ってください。

# 安全上のご注意

移動について守っていただきたいこと

## ⚠注意



- 本機を移動するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、すべてのケーブルをはずしたことを確認してください。コードやケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

## ⚠警告



- 本機は内部にレーザーモジュールがあります。本機から出力される光は使用状況によっては強力な光となり、目に悪影響を及ぼす恐れがありますので、光源を直視しないでください。

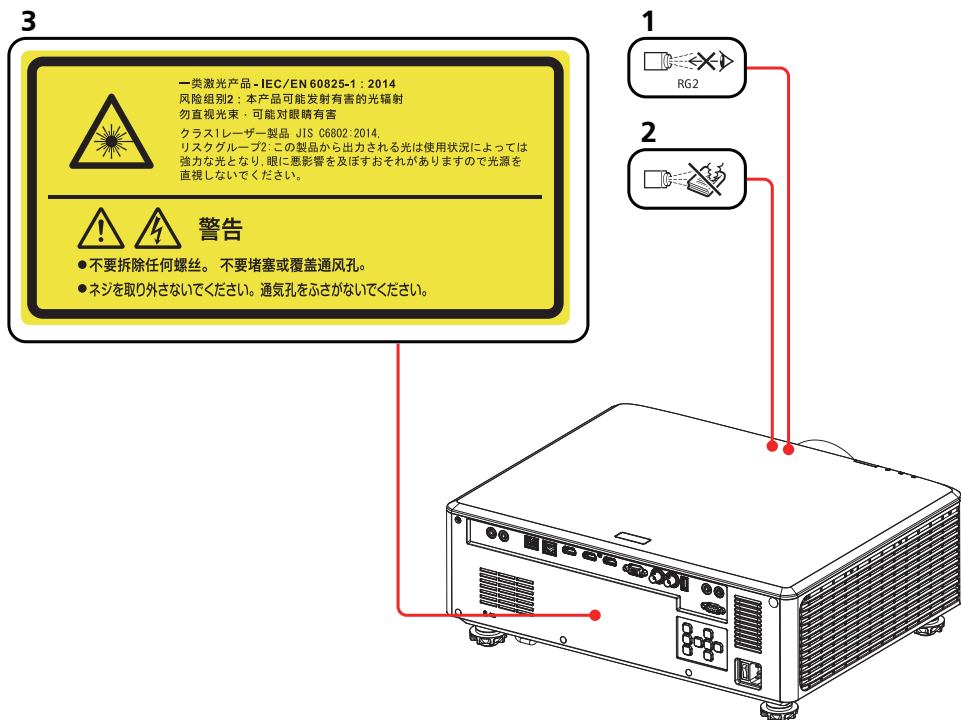
# 安全上のご注意

## 安全に関する本機の表示

本機に表示されている安全に関する情報です。

### 警告・注意のラベル位置について

本機には、下記に示す位置に安全にお使いいただくための、**警告**、**注意**のラベルまたは刻印があります。表示にしたがって安全にお使いください。




# 安全上のご注意

1. 動作中はレンズをのぞかないこと。視力障害などの原因となります。
2. 動作時にレンズの前に物を置かないこと。  
物が高温になり、やけどや火災の原因になる場合があります。  
映像を一時的に消す場合にはリモコンまたは本体のAVミュートをお使いください。
3. ネジを取り外さないでください。通気口をふさがないでください。  
クラス1レーザー製品 JIS C6802:2014です。

## 電源スイッチの記号

本機のスイッチに記されている記号の意味は以下のとおりです。

- ・  : オン/スタンバイの切り替え

## 使用上のお願い

### 本製品の取り扱いに関すること

- ・ 本製品を開梱したあとは、本書をよく読み、すべての操作手順およびその他の指示に従ってください。
- ・ 極端に気温の高低差がある、あるいは湿度の高い場所で使用しないでください。
- ・ 強力な磁場を発生する機器の近くで使用しないでください。
- ・ エアコンなど空調機器の風が直接あたる場所で使用しないでください。
- ・ 本機を持ち運ぶ際は以下の事項をお守りください。
  - ・ 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  - ・ 端子からすべてのケーブルをはずしてください。
  - ・ 手で持ち運ぶ場合
    - ・ 両手でしっかり持って、持ち運びください。
  - ・ 輸送する場合  
本機内部にはガラス部品や精密部品が数多く使われています。衝撃による故障を防止するために次の事項をお守りください。
    - ・ 衝撃が伝わらないように本機の周囲を緩衝材などで保護してください。
    - ・ お買い上げの際に本機がはいっていた梱包箱や堅固なダンボール箱に入れてください。
    - ・ 精密機器であることを告げて輸送を依頼してください。
    - ・ 不明な点は運送業者にご相談してください。
- ・ ゴムやビニール製品などの合成樹脂製品を長時間接触させないでください。外装が変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- ・ 本機を長時間連続して使用すると、故障や寿命を縮める原因となります。



# 安全上のご注意

## お手入れに関すること

- お手入れをする前に、本機の電源を切ってください。
- 本体のお手入れには中性洗剤を浸したやわらかい布を使用してください。
- ベンジン、シンナーは絶対に使用しないでください。変形、変色、塗装がはげるなどの原因となります。
- 研磨剤入り洗剤、ワックス、溶剤を使用しないでください。
- 化学ぞうきんは使用しないでください。
- 排気口や吸気口にたまったほこりなどは、定期的に取り除いてください。排気口や吸気口が目詰まりすると、本機内の空気の流れが悪くなり、故障の原因になることがあります。

## 映像の著作権について

次の行為は権利者に無断で行うと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがあります。

本機を使用するときは、著作者の権利を侵害しないよう注意してください。

- 営利目的で映像などを投写する行為
- 営利目的または公衆に視聴させる目的で、フリーズ、部分拡大、ズーム機能などを使用して、映像などを改変する行為
- 営利目的または公衆に視聴させる目的で、画面サイズ切り換え機能を使用して、映像などの縦横比を改変する行為

## 法律上の禁止事項

### 海外輸出規制

安全法規制(電波規制や材料規制など)は各国により異なります。これらの規制に違反して、本製品および消耗品等を諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。

## 電波、高調波電流に関する事項

### 電波障害についての注意事項

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
- コンセントを別にする。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

### 高調波電流規格についての事項

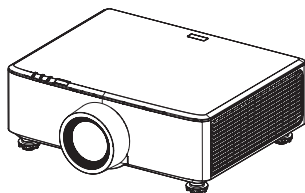
高調波電流規格 JIS C61000-3-2 適合品

## 廃棄について

本機または使用済み電池を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則にしたがって処理してください。詳しくは地方自治体にお問い合わせください。

## 同梱品の確認

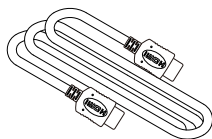
本製品には以下の同梱品が含まれます。ご使用前に同梱品がすべて揃っているか確認してください。万一不足しているものがあるときは、すぐにお買い上げの販売店に連絡してください。



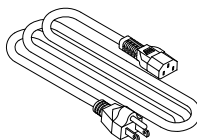
プロジェクター本体



リモコン  
(単4電池付き、  
30ページを  
参照して下さい)



HDMI ケーブル (1.8m)

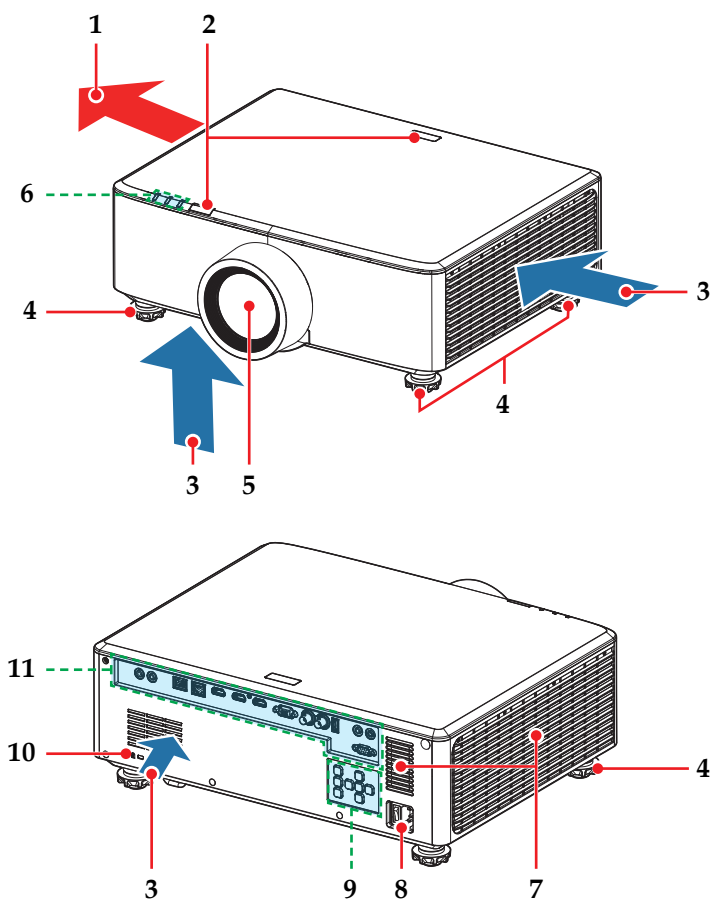


電源コード (1.8m)

### 文書：

- ☐ はじめにお読みください
- ☐ 保証書
- ☐ リコーテクニカルコールセンターシール
- ☐ マイバンク & QA 登録票

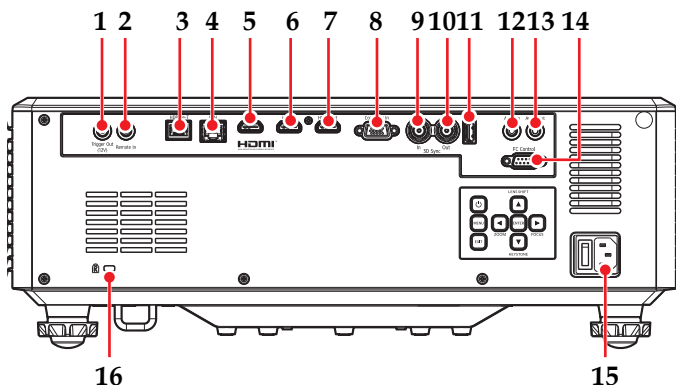
## 製品の各部名称



- |               |                                     |
|---------------|-------------------------------------|
| 1. 排気口        | 7. スピーカー                            |
| 2. リモコン受光部    | 8. 電源端子/主電源スイッチ                     |
| 3. 吸気口        | 9. 本体操作部                            |
| 4. アジャスタブルフット | 10. 盗難防止ロック取付穴<br>(Kensington™ ロック) |
| 5. レンズ        | 11. 入出力端子                           |
| 6. インジケーター    |                                     |

# はじめに

## 接続ポート



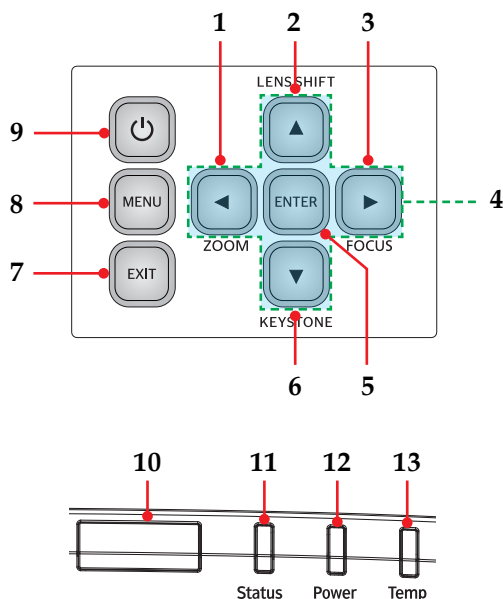
### Note

❖ HDMI1端子は  
HDMI2.0/DHCP2.2  
に対応しています。

HDMI2端子は  
HDMI1.4/DHCP1.4  
に対応しています。

- |                |                                     |
|----------------|-------------------------------------|
| 1. この端子は使いません  | 10. この端子は使いません                      |
| 2. 有線リモコン入力端子  | 11. DC 5V/1.5A 出力端子                 |
| 3. HDBaseT 端子  | 12. 音声入力端子<br>(3.5mm ステレオミニジャック)    |
| 4. LAN 端子      | 13. 音声出力端子<br>(3.5mm ステレオミニジャック)    |
| 5. HDMI 2 端子   | 14. PC 制御端子 (RS232C)                |
| 6. HDMI 1 端子   | 15. AC 入力ソケット                       |
| 7. HDMI 出力端子   | 16. 盗難防止ロック取付穴<br>(Kensington™ ロック) |
| 8. コンピューター入力端子 |                                     |
| 9. この端子は使いません  |                                     |

## 本体操作部

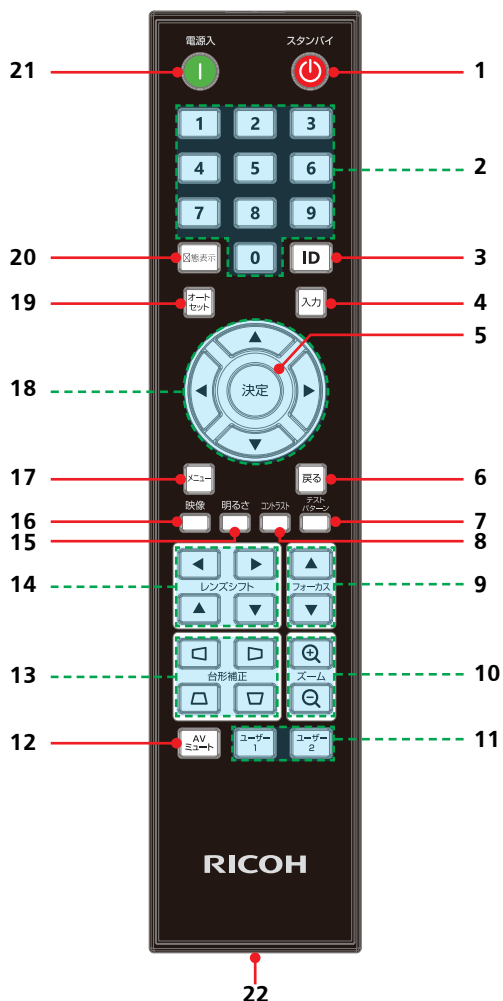


1	ズーム(ZOOM)	ズームを調整します。
2	レンズシフト (LENS SHIFT)	レンズシフトの調整をします。(投写画面が水平・垂直方向に平行移動します。)
3	フォーカス (FOCUS)	フォーカスを調整します。
4	4方向選択キー	▲、▼、◀、または▶で項目の選択や調整をします。
5	決定(ENTER)	設定を選択または確定します。
6	台形歪み補正 (KEYSTONE)	台形補正メニューを表示します
7	戻る(EXIT)	前の画面に戻ります。

# はじめに

8	メニュー	調整用のメニューを表示したり、メニューを消したりします。 (44 ページを参照してください)
9	電源	「電源の入れ方と切りかた」の章を参照してください。 (35 ～ 36 ページ)
10	リモコン受光部	リモコンからの信号を受信します。 受光部とリモコンの間を遮らないでください。
11	状態(Status) インジケータ	本機の状態を表示します。 (84 ～ 85 ページを参照してください)。
12	電源(Power) インジケータ	
13	温度(Temp) インジケータ	

## リモコン



- |   |                 |  |
|---|-----------------|--|
| 1 | スタンバイ (Standby) | ⏻: スタンバイに移行します。<br>「電源の入れ方と切りかた」の章を参照してください。<br>(35 ~ 36 ページを参照してください) |
| 2 | 数字 (0 ~ 9)      | 数字を入力します。  |



# はじめに

3	ID	リモコンの ID 設定を変更します。 (29 ページを参照してください)
4	入力(Input)	希望の入力信号を選択します。
5	決定(Enter)	設定を選択または確定します。
6	戻る(Exit)	前の画面に戻ります。
7	テストパターン (Pattern)	テストパターンを表示します。
8	コントラスト (Contrast)	画面のコントラストを調整します。
9	フォーカス (Focus)	▲ および ▼ で、画面のピントを調整します。
10	ズーム(ZOOM)	ズームを調整します。⊕で画面が拡大、⊖で画面が縮小します。
11	ユーザー (USER) 1/2	メニューで機能を割り当てることができます。 (63 ページを参照してください)
12	AVミュート (AV Mute)	音声と映像を一時的に消します。もう一度押すとともに戻ります。
13	台形歪み補正 (Keystone)	斜め方向から投写したときの歪みを調整します。 □ および □ で水平方向の歪みを、▢ および ▢ で垂直方向の歪みを調整できます。
14	レンズシフト (Lens Shift)	レンズシフトを調整します。 ◀ および ▶ で水平方向に、▲ および ▼ で垂直方向に画面を移動できます。
15	明るさ(Bright)	この機能を使用して、目的の明るさを選択します。
16	映像モード (Picture)	映像モードを切り替えます。
17	メニュー(Menu)	調整用のメニューを表示したり、メニューを消したりします。 (44 ページを参照してください)
18	4 方向キー	▲、▼、◀、▶ で項目の選択や調整をします。

19	オートセット (Auto)	入力信号に合わせて最適な状態に調整します。(コンピューター入力信号のみ対応します)
20	状態(Status)	「状態表示」メニューを表示します。
21	電源入(On)	①: 電源が入ります。 「電源の入れ方と切りかた」の章を参照してください。 (35 ～ 36 ページを参照してください)
22	有線リモコン 出力端子	本機とリモコンをケーブルでつなぎます。

## リモコン ID の設定

本機では、リモコンにIDを設定できます。本機に「01」～「99」の個別のIDを設定すると、同じIDに設定されたリモコンにのみ反応します。ID「00」は、リモコンの工場出荷値で、すべてのプロジェクターは、「00」に設定されたリモコンに反応します。

以下の方法に従い、リモコンを設定してください。

ID	変更方法
1	「ID」を押し続けると3秒後にバックライトが点灯しますので、「ID」を押したまま「0」「1」の順に押してください。
2	「ID」を押し続けると3秒後にバックライトが点灯しますので、「ID」を押したまま「0」「2」の順に押してください。
...	...
99	「ID」を押し続けると3秒後にバックライトが点灯しますので、「ID」を押したまま「9」「9」の順に押してください。

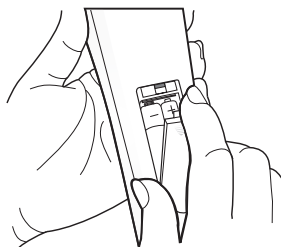
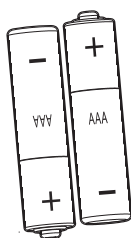
すべてのプロジェクターを制御できるように、リモコンを工場出荷時の状態に戻す場合は、「ID」押し続けると3秒後にバックライトが点灯しますので、「ID」を押したまま「0」「0」の順に押してください。

# はじめに

## リモコンへの電池の取り付け

本機には単4電池2本が付属しています。

- 1 リモコンの背面にある電池カバーをロック解除ボタンを押しながら外します。
- 2 新しい単4電池(AAA/R03)を取り付けます。電池の極性(+/-)が正しい向きになっていることを確認してください。
- 3 電池カバーを閉じて、カチッと音がするまで押し下げます。異なる種類の電池や新旧の電池を混ぜないでください。



安全な操作を保証するため、以下の注意事項を遵守してください。

- 必ず単4電池(AAA/R03)を使用してください。
- 電池を保管または廃棄する場合は、端子をテープなどで絶縁してください。他の電池や金属物と混ぜないでください。
- 使用済み電池を廃棄するときは、地方自治体の条例や規則に従って処理してください。詳しくはお住いの地方自治体にお問い合わせください。
- リモコンが正しく動作しない場合、または動作範囲が狭くなった場合は、電池を交換してください。
- リモコンに水や液体がかからないようにしてください。
- リモコンは、高温や高湿度の環境を避けて保存してください。
- リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
- 長期間使用しない場合は、リモコンから電池を取り外してください。
- 電池がリモコン内で液漏れした場合は、慎重にケースをきれいに拭き取り、新しい電池を取り付けてください。
- 本体のリモコン受光部が明るい日光や蛍光灯にさらされると、リモコンが動作しない場合があります。

## リモコンの動作範囲

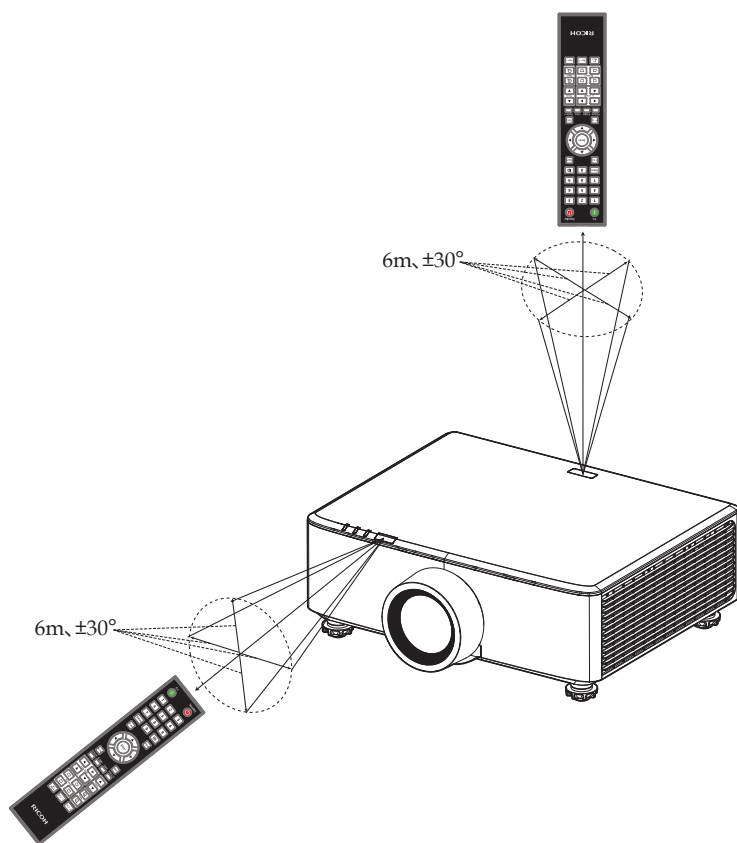
リモコンを操作するときは、リモコンを本機のリモコン受光部に向けてください。

リモコンの最大動作範囲は、リモコン受光部から約 6m かつ  $\pm 30^\circ$  以内です。

### Note

❖ 本機とリモコンをケーブルでつなぐことができます。

(3.5mmステレオケーブル、最長12m)

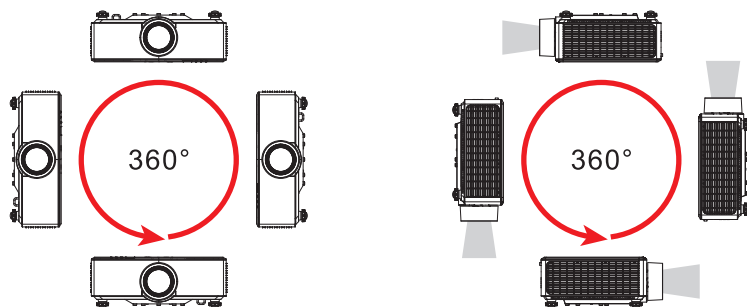


## 設置する

本機を設置するときは、スクリーンの大きさとアスペクト比、電源の位置、接続する機器との距離を考慮してください。

スクリーンの大きさに合わせて、スクリーンと本機の距離を調整してください。詳しくは：

- ❖ 本機にはレンズシフト機能があります。レンズの中心とスクリーンの中心の位置がずれている場合は、まずレンズシフトで投写位置を調整してください。それでも調整しきれない場合は、本機をスクリーンに対して斜めに設置して、台形補正などを使用します。
- ❖ LAN を使用する場合には、インターネットからの不正アクセスを防止するため、ファイアウォールにより隔離されたネットワークでご使用ください。
- ❖ 悪意を持った第三者に通信データが盗み見されないよう、機器本体および本機が接続されるネットワーク機器の設置場所および管理に十分ご注意ください。
- ❖ 本機は上下360度設置・左右360度設置で投写が可能です。本機の質量に耐えられる強度の金具を使用してください。また、本機がしっかりと固定されていることを確認してください。



**注意：**

- LAN に接続するときは、必ず本書に記載されているセキュリティ上のリスクをよく読んで理解し、できるだけ安全に使用してください。

# 基本的な操作

## 接続する

### コンピューター/ノートパソコンと接続する

#### Note

❖ 電源プラグが本機の電源端子と、コンセントの両方にきちんと差し込まれているか確認します。

❖ 主電源スイッチが入っていることを確認してください。

❖ 電源プラグは、本機を設置する場所の最寄りのコンセントに差し込み、常に手の届く状態にしておいてください。

❖ HDMI 入力を選択されていると、HDMI 信号に含まれる音声のみを出力します。

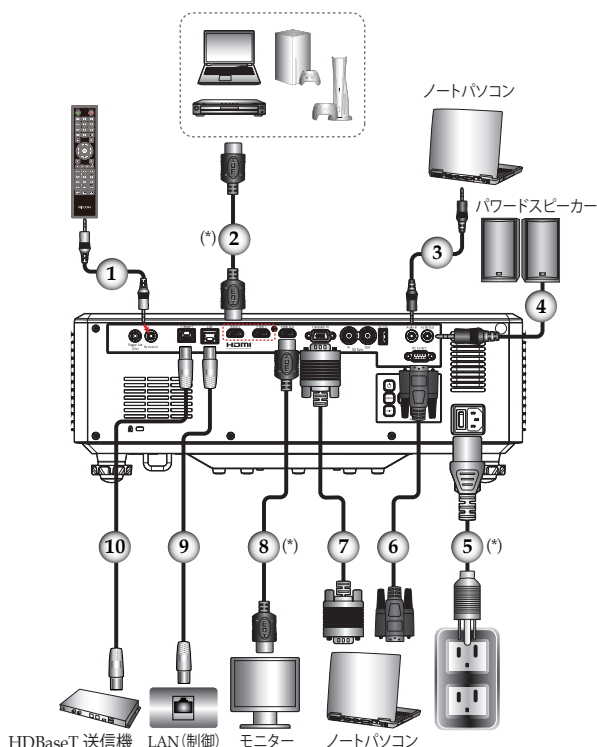
❖ 外部スピーカーを接続したときは、本機のスピーカーから音声は出力されません。

❖ 入力する信号が、本機が対応する信号であることを確認してください。(87～94 ページ参照)

❖ 本機に付属のケーブルを使用してください。(\*)

❖ 本機とリモコンをケーブルでつなぐ有線リモコン用ケーブルは、3.5mmステレオケーブルをお使いください。(最長12m)

音声ケーブルは、3.5mmステレオケーブルをお使いください。

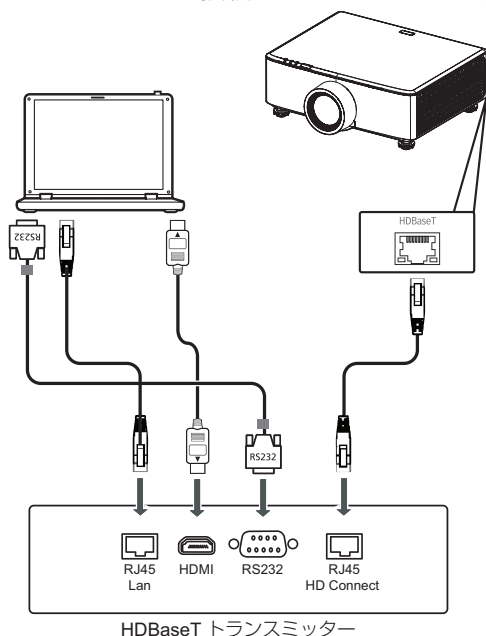


- |        |                |         |                      |
|--------|----------------|---------|----------------------|
| 1..... | 有線リモコン用ケーブル    | 6.....  | シリアルケーブル (クロス接続)     |
| 2..... | HDMI ケーブル (付属) | 7.....  | RGB ケーブル             |
| 3..... | 音声ケーブル         | 8.....  | HDMI ケーブル (付属)       |
| 4..... | 音声ケーブル         | 9.....  | LAN ケーブル             |
| 5..... | 電源コード (付属)     | 10..... | LAN ケーブル (Cat.5e 以上) |

# 基本的な操作

## HDBaseT の接続

HDBaseT は、非圧縮のHD マルチメディアコンテンツを通信できます。HDBaseT 送信機（別売り）を使用すると、HDBaseT 接続で複数の信号をプロジェクターに接続できるようになります。



### Note

❖ 図は参照用であり、実際のレイアウトは異なる場合があります。

- ❖ CAT5e 以上、最大100mのシールド付き LANケーブルをお使いください。
- ❖ 最大通信距離は100mですが、場合によってはこれよりも短くなる場合があります。
- ❖ LANケーブルは渦巻き状、または束ねた状態で使用しないでください。
- ❖ 投写中に LANケーブルを取り外しすると、ノイズが生じる場合があります。
- ❖ 市販されているすべてのHDBaseTトランスミッターとの接続が保証されている訳ではありません。
- ❖ HDBaseTトランスミッターによっては正しく投写されないことがあります。

# 基本的な操作



## 電源の入れかたと切りかた

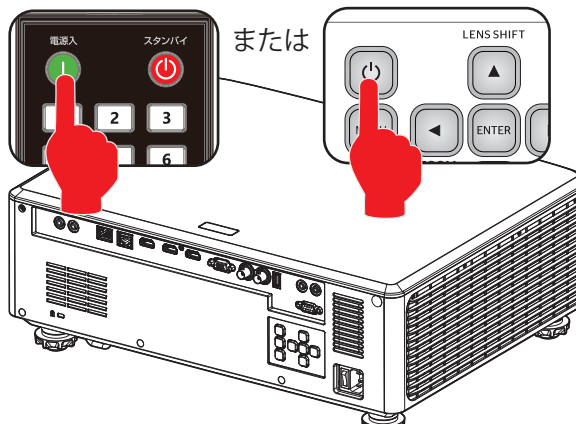
### 電源を入れる

#### Note

※ 同時に複数の信号を接続しているときは、リモコンの「入力」ボタンを押して入力を切り替えます。

※ 本機の電源を先に入れてから信号源の電源を入れます。

1. 電源コードと信号ケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。電源コードをコンセントに接続し、本体の主電源スイッチを入れる（「1」側に倒す）と、電源(Power)インジケータが赤色に点灯します。
2. 本体操作部の「」キーまたはリモコンの「」キーを押して、本機の電源を入れます、電源(Power)インジケータが赤色に点滅します。  
起動画面が表示され、電源(Power)インジケータが緑色に点灯します。
3. 本機を初めて使用する際は、表示言語の選択画面が表示されます。メニューなどに使用する言語を選んでください。
4. 接続した信号源（コンピューター、ノートPC、ビデオプレーヤーなど）の電源を入れます。本機は信号を自動的に検出します。信号が自動的に検出されないときは「自動入力検索」が「入り」に設定されていることを確認してください。



**警告:** 光源点灯中はレンズをのぞき込まないでください。のぞき込むと強い光により視力障害など目を傷める原因となります。



**注意:** 吸気口または排気口をふさがないでください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

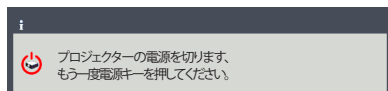
**注意:** 排気口の近くや本体の下に手や顔を近づけたり、物を置かないでください。けがや機器の故障の原因となります。





# 基本的な操作

## 電源を切る

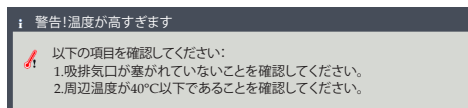
1. 本体操作部の  キーまたはリモコンの  キーを押すと、画面に以下のメッセージが表示されます。



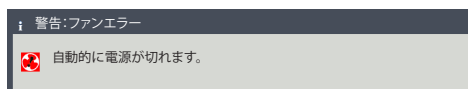
2. もう一度本体操作部の  キーまたはリモコンの  キーを押すと、レーザー光源が消えます。このメッセージは 5 秒後に消えます。
3. 光源が消灯した後、冷却ファンが約20秒間動作します。この間、電源(Power)インジケータが緑色に点滅します。冷却が終了すると、電源(Power)インジケータは赤色に点灯して、本機はスタンバイモードになります。
4. 本機の電源を再度入れるときは、スタンバイモードに入るまでお待ちください。

## インジケータによる警告表示

- ❖ 「温度(Temp)」インジケータが赤色に点灯している場合、本機が過熱していることを示します。以下のメッセージが表示されたあと、電源が自動的に切れます。



- ❖ 冷却ファンに異常が発生した場合、以下のメッセージが表示され、5秒後に自動的に電源が切れます。本機の使用を中止し、電源コードをコンセントから抜いてから販売店またはサービス実施店にご連絡ください。



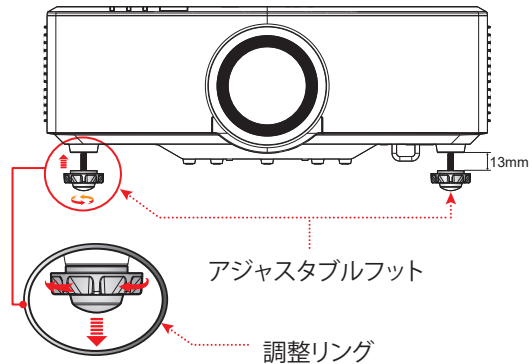
# 基本的な操作

## 投写映像を調整する

### 投写映像の位置を調整する

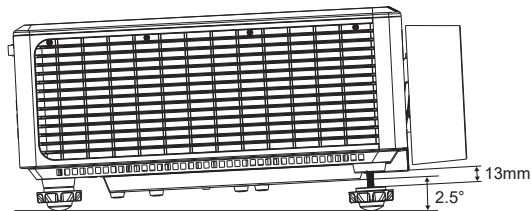
本機のアジャスタブルフットを調整して、投写映像の上下位置や傾きを調整できます。

1. 調整したいアジャスタブルフットの位置を確認します。
2. アジャスタブルフットの調整リングを時計回りに回すと本機の位置を高く、反時計回りに回すと低く調整できます。必要に応じて、残りのアジャスタブルフットを調整してください。



#### Note

❖ アジャスタブルフットを回転させると、約2.5度まで傾けられます。アジャスタブルフットは最大13mmまで伸ばせます。



# 基本的な操作

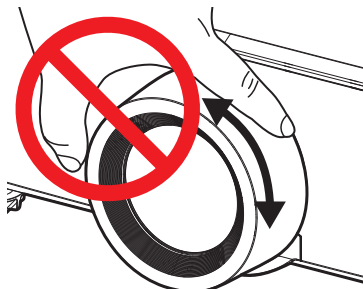
## ズームとフォーカスを調整する

本機のズーム/フォーカスの調整はモーターによって駆動されます。リモコンや本体操作部を使用してズームを調整し、画像が鮮明になるようにフォーカスを合わせてください。

### Note

❖ プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。映像の調整は投影開始から30分以上経ってから行ってください。

注意：



- フォーカスリングを手で無理に動かさないでください。誤動作や故障の原因となります。

# 基本的な操作

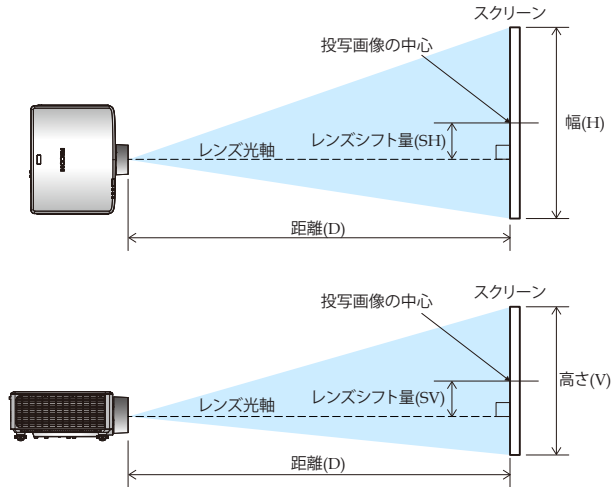
## レンズシフト

電動レンズシフト機能により、投写画像を上下左右に移動できます。レンズの正面以外に投写したいときは、まずこの機能で目的の位置へ投写できるように調整します。レンズシフト量は、画面の高さまたは幅に対する割合(%)で表されます。本機のレンズシフト範囲については、「レンズシフト範囲」(40ページ)を参照してください。

### Note

❖ 距離(D)はレンズ先端からスクリーンまでの距離です。

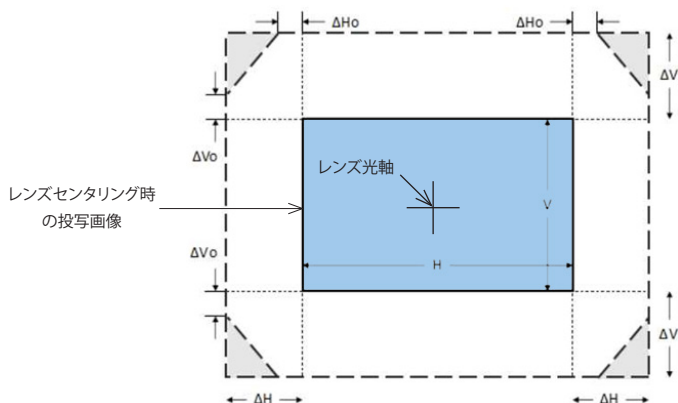
レンズを上下方向にシフトすると、横方向にシフトできる範囲が変わります。詳しくは「レンズシフト範囲」(40ページ)を参照してください。



# 基本的な操作

## レンズシフト範囲

WUXGA	レンズシフト範囲			
	$\Delta H$	$\Delta V$	$\Delta H_0$	$\Delta V_0$
RICOH PJ WUL6670 RICOH PJ WUL6680	25%	55%	5%	15%



表および図中の記号は、以下のように定義されています。

- ▶  $\Delta H$ : レンズが中央にあるときの水平方向のレンズシフト範囲。
- ▶  $\Delta V$ : レンズが中央にある垂直方向のレンズシフト範囲。
- ▶  $\Delta H_0$ : レンズが上端または下端にあるときの水平方向のケラレのないレンズシフト範囲。
- ▶  $\Delta V_0$ : レンズが右端または左端にあるときの垂直方向のケラレのないレンズシフト範囲。

# 基本的な操作

## 投写距離表

RICOH PJ WUL6670

全画面表示の場合

### Note

- ❖ 垂直レンズシフト範囲 ( $\Delta V1/V$ ) は 0 ~ 55% です。
- ❖ 水平レンズシフト範囲 ( $\Delta V1/H$ ) は 0 ~ 25% です。
- ❖ 水平・垂直のレンズシフトを同時に行うと、画面の隅が暗くなること(ケラレ)があります。ケラレの発生しない条件については「レンズシフト範囲」(40ページ)を参照してください。

画面サイズ(全画面)			距離 (D)		最大レンズシフト量 (SV)	
型	幅H (m)	高さV (m)	最小 (m)	最大 (m)	上方向 (m)	下方向 (m)
80	1.72	1.08	2.09	2.63	0.59	0.59
90	1.94	1.21	2.36	2.97	0.67	0.67
100	2.15	1.35	2.63	3.30	0.74	0.74
110	2.37	1.48	2.89	3.63	0.81	0.81
120	2.58	1.62	3.16	3.97	0.89	0.89
130	2.80	1.75	3.43	4.30	0.96	0.96
140	3.02	1.88	3.69	4.63	1.04	1.04
150	3.23	2.02	3.96	4.96	1.11	1.11
160	3.45	2.15	4.22	5.30	1.18	1.18
170	3.66	2.29	4.49	5.63	1.26	1.26
180	3.88	2.42	4.76	5.96	1.33	1.33

アスペクト比 4:3 の画面を表示した場合

画面サイズ(全画面)			距離 (D)		最大レンズシフト量 (SV)	
型	幅H (m)	高さV (m)	最小 (m)	最大 (m)	上方向 (m)	下方向 (m)
80	1.63	1.22	2.37	2.98	0.67	0.67
90	1.83	1.37	2.67	3.36	0.75	0.75
100	2.03	1.52	2.98	3.74	0.84	0.84
110	2.24	1.68	3.28	4.11	0.92	0.92
120	2.44	1.83	3.58	4.49	1.01	1.01
130	2.64	1.98	3.88	4.87	1.09	1.09
140	2.84	2.13	4.18	5.24	1.17	1.17
150	3.05	2.29	4.48	5.62	1.26	1.26
160	3.25	2.44	4.78	6.00	1.34	1.34
170	3.45	2.59	5.08	6.38	1.42	1.42
180	3.66	2.74	5.39	6.75	1.51	1.51

# 基本的な操作

アスペクト比 16:9 の画面を表示した場合

画面サイズ(全画面)			距離 (D)		最大レンズシフト量 (SV)	
型	幅H (m)	高さV (m)	最小 (m)	最大 (m)	上方向 (m)	下方向 (m)
80	1.77	1.00	2.15	2.71	0.61	0.61
90	1.99	1.12	2.43	3.05	0.68	0.68
100	2.21	1.25	2.70	3.39	0.76	0.76
110	2.44	1.37	2.97	3.73	0.84	0.84
120	2.66	1.49	3.25	4.08	0.91	0.91
130	2.88	1.62	3.52	4.42	0.99	0.99
140	3.10	1.74	3.80	4.76	1.07	1.07
150	3.32	1.87	4.07	5.10	1.14	1.14
160	3.54	1.99	4.34	5.45	1.22	1.22
170	3.76	2.12	4.62	5.79	1.29	1.29
180	3.98	2.24	4.89	6.13	1.37	1.37

RICOH PJ WUL6680

全画面表示の場合

画面サイズ(全画面)			距離 (D)		最大レンズシフト量 (SV)	
型	幅H (m)	高さV (m)	最小 (m)	最大 (m)	上方向 (m)	下方向 (m)
80	1.72	1.08	2.15	3.45	0.59	0.59
90	1.94	1.21	2.43	3.88	0.67	0.67
100	2.15	1.35	2.70	4.32	0.74	0.74
110	2.37	1.48	2.98	4.76	0.81	0.81
120	2.58	1.62	3.26	5.19	0.89	0.89
130	2.80	1.75	3.53	5.63	0.96	0.96
140	3.02	1.88	3.81	6.07	1.04	1.04
150	3.23	2.02	4.08	6.51	1.11	1.11
160	3.45	2.15	4.36	6.94	1.18	1.18
170	3.66	2.29	4.64	7.38	1.26	1.26
180	3.88	2.42	4.91	7.82	1.33	1.33
190	4.09	2.56	5.19	8.25	1.41	1.41
200	4.31	2.69	5.46	8.69	1.48	1.48

# 基本的な操作

## アスペクト比 4:3 の画面を表示した場合

### Note

- ❖ 垂直レンズシフト範囲 ( $\Delta V1/V$ ) は 0 ~ 55% です。
- ❖ 水平レンズシフト範囲 ( $\Delta V1/H$ ) は 0 ~ 25% です。
- ❖ 水平・垂直のレンズシフトを同時に行うと、画面の隅が暗くなること(ケラレ)があります。ケラレの発生しない条件については「レンズシフト範囲」(40ページ)を参照してください。

画面サイズ(全画面)			距離 (D)		最大レンズシフト量 (SV)	
型	幅H (m)	高さV (m)	最小 (m)	最大 (m)	上方向 (m)	下方向 (m)
80	1.63	1.22	2.44	3.90	0.67	0.67
90	1.83	1.37	2.75	4.40	0.75	0.75
100	2.03	1.52	3.06	4.89	0.84	0.84
110	2.24	1.68	3.38	5.39	0.92	0.92
120	2.44	1.83	3.69	5.88	1.01	1.01
130	2.64	1.98	4.00	6.38	1.09	1.09
140	2.84	2.13	4.31	6.87	1.17	1.17
150	3.05	2.29	4.62	7.37	1.26	1.26
160	3.25	2.44	4.94	7.86	1.34	1.34
170	3.45	2.59	5.25	8.36	1.42	1.42
180	3.66	2.74	5.56	8.85	1.51	1.51
190	3.86	2.90	5.87	9.34	1.59	1.59
200	4.06	3.05	6.19	9.84	1.68	1.68

## アスペクト比 16:9 の画面を表示した場合

画面サイズ(全画面)			距離 (D)		最大レンズシフト量 (SV)	
型	幅H (m)	高さV (m)	最小 (m)	最大 (m)	上方向 (m)	下方向 (m)
80	1.77	1.00	2.21	3.54	0.61	0.61
90	1.99	1.12	2.50	3.99	0.68	0.68
100	2.21	1.25	2.78	4.44	0.76	0.76
110	2.44	1.37	3.07	4.89	0.84	0.84
120	2.66	1.49	3.35	5.34	0.91	0.91
130	2.88	1.62	3.63	5.79	0.99	0.99
140	3.10	1.74	3.92	6.24	1.07	1.07
150	3.32	1.87	4.20	6.69	1.14	1.14
160	3.54	1.99	4.48	7.14	1.22	1.22
170	3.76	2.12	4.77	7.59	1.29	1.29
180	3.98	2.24	5.05	8.03	1.37	1.37
190	4.21	2.37	5.33	8.48	1.45	1.45
200	4.43	2.49	5.62	8.93	1.52	1.52



# 各種設定のしかた

## メニューを使う

メニューを表示させて、映像などの調整や、各種設定の変更ができます。

### 操作のしかた

1. メニューを表示させるには、本体操作部の「Menu」またはリモコンの「メニュー」を押します。
2. メニューが表示されたら、▲ ▼ キーを使ってメインメニューの項目のいずれかを選びます。項目を選択し、「決定(Enter)」キーを押してサブメニューへ進みます。
3. ▲ ▼ キーでサブメニューのいずれかの項目を選び、「決定(Enter)」キーを押して設定項目を選びます。◀ ▶ キーまたは ▲ ▼ キーを使用して調整や設定をします。
4. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に調整や設定をします。
5. 「戻る(Exit)」キーを押すと、前のメニューに戻ります。
6. メインメニューが表示されているときに「戻る(Exit)」キーを押すと、メニューを閉じます。また、メニューが表示されているときに「メニュー(Menu)」キーを押してもメニューを閉じることができます。

#### Note

❖ 約 30 秒間キー操作を行わないと、メニューは自動的に消えます。



# 各種設定のしかた



## 映像

### 映像モード

映像モードを選びます。

- ▶ 高輝度: 明るさを重視したモードです。
- ▶ 標準: 明るさと色再現のバランスがとれたモードです。
- ▶ ビビッド: 色を強調したモードです。
- ▶ ナチュラル: 自然な色再現を重視したモードです。
- ▶ ブレンディング: ブレンディング用の階調の滑らかさを重視したモードです。
- ▶ DICOM SIM.: DICOM規格に近似したモードです。

#### Note

❖ ブレンディングモードは階調の滑らかさを優先するため、色がくすんで見える場合があります。色の鮮やかさを優先したい場合は他の映像モードを使用してください。

### 明るさ

画像の明るさを調整します。



- ▶ ◀キーを押すと、映像が暗くなります。
- ▶ ▶キーを押すと、映像が明るくなります。

# 各種設定のしかた

## コントラスト

コントラスト(映像の明るい部分と黒い部分の明るさの差)を調整します。



- ▶ ◀ キーを押すとコントラストが下がります。
- ▶ ▶ キーを押すとコントラストが上がります。

## 色の濃さ

映像の色の濃さを調整します。



- ▶ ◀ キーを押すと色が薄くなります。
- ▶ ▶ キーを押すと色が濃くなります。

## シャープネス

映像のシャープネスを調整します。



- ▶ ◀ キーを押すとシャープネスが下がります。
- ▶ ▶ キーを押すとシャープネスが上がります。

## ガンマ

映像のガンマ調整をします。

1.8/2.0/2.2/2.4/Shineから選びます。

## 色温度

映像の色温度を調整します。

低/中/高/ネイティブから選びます。

## イメージエコ

入力された映像に合わせて光源を制御することにより、コントラストを向上させます。

切り:光源の制御はおこないません。

モード1:黒い映像が入力されたときに、光源を遮断します。

モード2:映像の明るさに応じて光源を制御します。

## HDR 設定

4K信号などで使用されるHDR信号の設定をします。

### Note

❖ 「色の濃さ」は、入力信号の形式により調整できないことがあります。

### Note

❖ HDMI 1 のみ HDR 信号をサポートします。

# 各種設定のしかた

- ▶ HDR (High Dynamic Range:ハイダイナミックレンジ):
  - 自動:HDR信号を自動的に検出し、適切に表示します。
  - 切り:HDR 信号に対応しません。
- ▶ EOTF (Electro-Optical Transfer Function:電気光学転送機能):  
HDR信号の表示のしかたを調整します。

## NCE (Natural Color Enhancer:ナチュラルカラーエンハンスー)

NCEの入り/切りを切り替えます。NCEの調整は、詳細設定のNCEでおこないます。

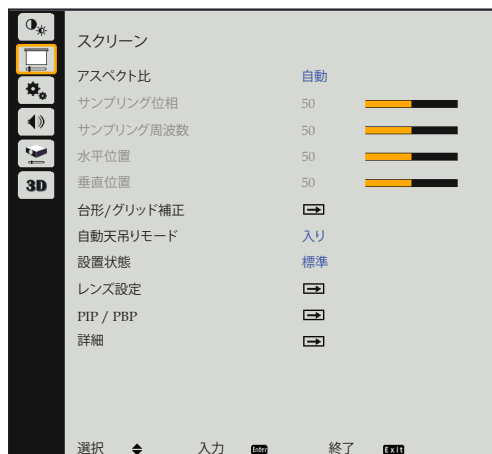
- ▶ 入り:NCE を有効にします。
- ▶ 切り:NCE を無効にします。

## 詳細設定

詳細な画像設定を構成します。

- ▶ 壁色モード:壁の色に合わせて表示を最適化します。  
切り/ライトイエロー/ライトブルー/ピンク/ダークグリーンから選びます。
- ▶ ゲイン/オフセット:RGBのゲイン/オフセットを調整します。  
ゲインで明るい部分のホワイトバランスを、オフセットで暗い部分のホワイトバランスを調整できます。  
先にオフセットを調整し、そのあとでゲインを調整します。
- ▶ NCE:画像の詳細な色調整をします。
  - 赤/緑/青/シアン/マゼンタ/黄を選択した場合:
    - 色あい:◀または▶を使用して、色あいを調整します。
    - 色の濃さ:◀または▶キーを使用して、色の濃さを調整します。
    - ゲイン:◀または▶キーを使用して、色の明るさを調整します。
  - 白ゲインを選択した場合:
    - 赤:◀または▶キーを使用して、赤のゲインを調整します。
    - 緑:◀または▶キーを使用して、緑のゲインを調整します。
    - 青:◀または▶キーを使用して、青のゲインを調整します。
  - 初期化:NCE 設定を工場出荷時に戻します。

# 各種設定のしかた



## スクリーン

### アスペクト比

アスペクト比を切り替えます。

- ▶ 自動:アスペクト比を自動的に選択します。
- ▶ 4:3:4:3 のアスペクト比で表示します。
- ▶ 16:9:16:9 のアスペクト比で表示します。
- ▶ 16:10:16:10 のアスペクト比で表示します。

#### Note

❖ 「サンプリング位相」および「サンプリング周波数」は、コンピュータ信号以外では調整できません。

### サンプリング位相

◀または▶で細かい線を表示したときの周期的な模様やちらつきが無くなるように調整します。



### サンプリング周波数

◀または▶で画面の水平方向に表示するドット数をお使いのコンピュータの出力解像度に合わせて調整します。



# 各種設定のしかた

## Note

❖ 「水平位置」および「垂直位置」は、コンピュータ信号以外では使用できません。

## 水平位置

投写する映像の水平位置を調整します。



- ▶ ◀ キーで映像が左に動きます。
- ▶ ▶ キーで映像が右に動きます。

## 垂直位置

投写する映像の垂直位置を調整します。



- ▶ ◀ キーで映像が下に動きます。
- ▶ ▶ キーで映像が上に動きます。

## Note

❖ 台形補正・4点補正・曲面スクリーン補正・グリッド調整を行うと、補正前に比べて画像が鮮明でなくなります。

## 台形/グリッド補正

- ▶ モード：歪み補正モードを選択します。
  - 台形/湾曲補正：台形補正・4点補正・曲面スクリーン補正ができます。
  - グリッド補正：グリッド調整ができます。
- ▶ 台形補正：本体を上下左右方向に傾けて投影したときに生じる映像の歪みを補正します。レンズシフトの位置によって、歪みを補正できない場合があります。このような場合は、4点補正を使用します。
- ▶ 4点補正：投写された映像の4隅の位置を調整して、映像の歪みを調整します。
- ▶ 曲面スクリーン補正：湾曲したスクリーンに投影したときに生じる歪みを調整します。
- ▶ グリッド補正：映像の歪みをグリッド（格子）状の調整点の位置を指定することによって調整します。
  - グリッド調整点：調整点の数を2x2/3x3/5x5/9x9/17x17から選択します。
  - 内部調整点：「入り」にすると、内部のグリッドも調整できます。「切り」にすると外周上の調整点しか調整できません。
  - シャープネス：グリッド調整が有効になっているときのシャープネスを調整します。
  - グリッドカラー：調整点を示すグリッドの色を緑/マゼンタ/シアンから選びます。
  - 背景：表示されるグリッドの背景を黒/なしから選びます。「なし」を選ぶと入力された信号にグリッドが重ねて表示されます。

# 各種設定のしかた

- ▶ メモリー: 歪み補正 (台形補正・曲面スクリーン補正・グリッド補正) の調整内容と、ブレンディング調整の設定が記憶されます。本機では、グリッド調整した調整値を保存できます。5個のメモリーがあり、それぞれ指定して読み出し・保存ができます。
- ▶ 初期化: グリッド調整の値を補正なしの状態に初期化します。

## 自動天吊りモード

本機の天吊り設置状態を自動的に検出します。

- ▶ 入り: 天吊り状態を自動的に検出します。
- ▶ 切り: 自動検出をしません。

## 設置状態

本機の設置状態に合わせて投写映像の向きを切り替えます。標準/背面/天吊り/背面天吊りから選びます。(「自動天吊りモード」が「入り」の時は、標準/背面から選びます。)

## レンズ設定

レンズを調整します。

- ▶ フォーカス: ピントを調整します。
- ▶ ズーム: ズームを調整します。
- ▶ レンズシフト: レンズシフトを調整します。投写画面の位置を移動できます。
- ▶ レンズメモリー: 本機ではレンズシフト位置を保存できます。5個のメモリーがあり、それぞれ指定して読み出し・保存ができます。ズーム・フォーカス位置は保存されません。
- ▶ レンズロック: 「入り」にすると、リモコンやメニューからレンズ調整ができなくなります。調整するときは「切り」に設定してください。
- ▶ レンズセンタリング: レンズシフトを中央に移動します。いったん端の基準位置に移動するので、中央に移動するまで時間がかかります。(本操作はレンズシフト位置の校正を兼ねています)

### Note

❖ レンズセンタリングを実行すると、保存されたレンズの記録がクリアされます。レンズセンタリングを実行していない場合、レンズシフトメモリーは使用できません。

## Note

❖ PIP/PBP 機能は、2D ハイスピードモード、アスペクト比、部分拡大、画像シフトには対応していません。

❖ メインとサブに同じ信号を設定することはできません。

## PIP/PBP

PIP/PBP (ピクチャインピクチャ/ピクチャバイピクチャ) では、2 つの入力からの画像を同時に表示できます。

- ▶ PIP/PBP: PIP/PBP の切り替えをします。
- ▶ メイン入力: メイン画面に表示する入力信号を切り替えます。コンピューター/HDMI1/HDMI2/HDBaseT から選びます。
- ▶ サブ入力: サブ画面に表示する入力信号を切り替えます。コンピューター/HDMI1/HDMI2/HDBaseT から選びます。
- ▶ 子画面位置: PIP 時の子画面位置を変更します。

- PBP 表示



- PIP 表示

PIP 子画面位置	子画面サイズ		
	小	中	大
右下			
左下			
左上			
右上			



# 各種設定のしかた

## Note

❖ 両方の入力の解像度やリフレッシュレートが高すぎる場合、点滅する線が発生することがあります。このような時は入力信号の解像度を下げることで改善する場合があります。

❖ メイン入力とサブ入力のフレームレートの違いにより、コマ落ちが発生する場合があります。

❖ ブレンディングは、歪み補正のモードを幾何学補正にしてから使用してください。

❖ 部分拡大・ブレンディングを行うと、補正前に比べて画像が鮮明でなくなります。

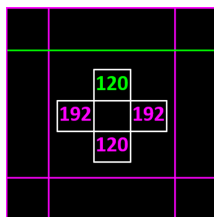
- ▶ 子画面サイズ: PIP時の小画面サイズを変更します。
- ▶ 画面入れ替え: メイン入力とサブ入力の信号を入れ替えます。

## 詳細設定

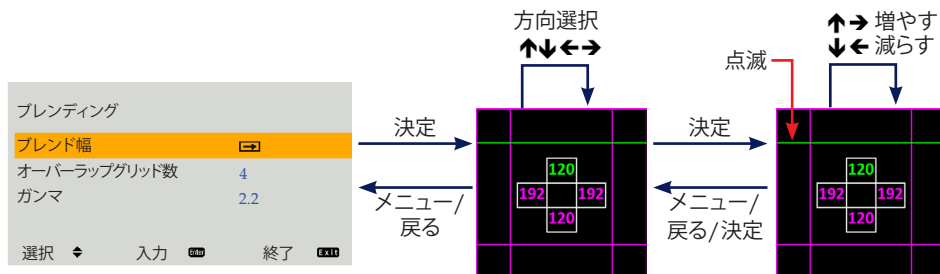
- ▶ 部分拡大: 水平拡大率、垂直拡大率、水平位置、垂直位置を調整して画面の任意の範囲を拡大表示できます。
- ▶ ブレンディング: 複数のプロジェクターをつなげて表示する(マルチプロジェクション)時、重なる部分を徐々に混合することによりつなぎ目を目立たなくします。

- ブレンド幅: 画面を重ねる領域を設定します。画面端からの画素数で設定します。隣の画面と重なる方向により4方向の設定ができます。各々画面幅/画面高さの0% (オフ)、10%~50%の範囲で調整できます。

- 左: 0 (0%)、192 (10%) ~ 960 (50%)。
- 右: 0 (0%)、192 (10%) ~ 960 (50%)。
- 上: 0 (0%)、120 (10%) ~ 600 (50%)。
- 下: 0 (0%)、120 (10%) ~ 600 (50%)。



- 次のように「ブレンド幅」の値を調整します。



# 各種設定のしかた

- オーバーラップグリッド数:ブレンディングを設定すると、グリッド調整時に表示されるグリッドの数がブレンディング幅に応じて切り替わるようになっています。ブレンディングの幅あたりのグリッドの本数を4/6/8/10/12から選びます。
- ガンマ:重ね合わせ部分のガンマを1.8/1.9/2.0/2.1/2.2/2.3/2.4から選びます。重ね合わせた部分がスムーズになるようにします。
- ▶ RGB入力レンジ:RGB信号レベルを切り替えます。信号源の設定に合わせて調整します。(PCからはフルレンジで出力されます)
  - 自動:自動的に検出します。
  - リミテッド:リミテッドレンジにします。
  - フル:フルレンジにします。
- ▶ スタート画面:起動時や無信号時に表示されるロゴを切り替えます。
  - 標準:リコーのロゴを表示します。
  - ユーザーロゴ:お客様が登録したロゴ画像を表示します。ロゴ画像の登録は本機のWebページにアクセスして行うことができます。(73ページ参照)
- ▶ 電源オフメッセージ:「オフ」を選ぶと、電源キーを押したときに表示される確認メッセージが表示されず、直接電源を切ることができます。
- ▶ 無信号背景:無信号時に表示される画面を選びます。
  - ロゴ:ロゴ画面を表示します。
  - 青:ブルー画面を表示します。
  - 黒:ブラック画面を表示します。
- ▶ ユーザーロゴの消去:お客様が登録したロゴ画像を消去します。
- ▶ テストパターン:テストパターンを表示します。  
表示されるパターンを切り/グリッド(緑)/グリッド(マゼンタ)/グリッド(白)/白/黒/赤/緑/青/黄/マゼンタ/シアン/チェッカー/カラーバー/文字表示から選びます。

# 各種設定のしかた

## Note

❖ ブレンディングを行うと、補正前に比べて画像が鮮明でなくなります。

## ブレンディングの使い方

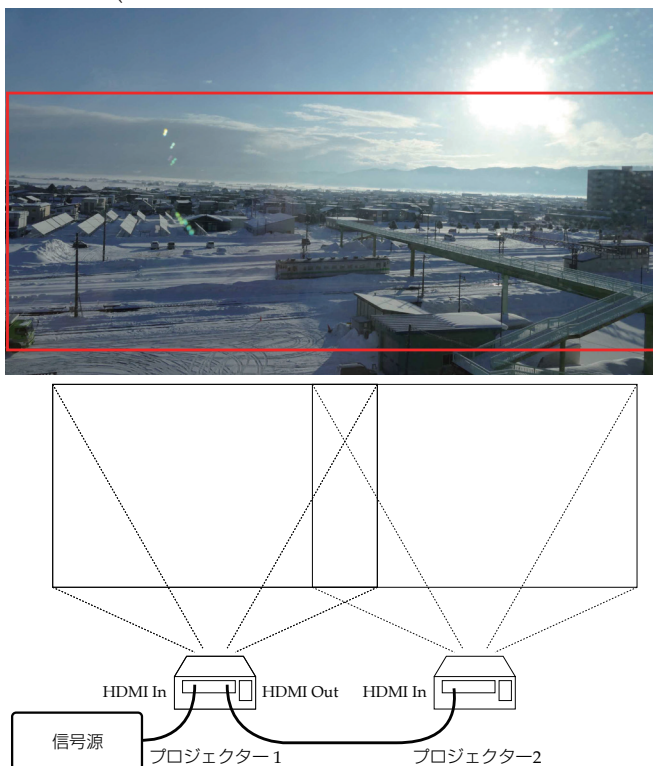
### 手順1

ブレンディング機能を使用すると、複数のプロジェクターからの画像をつなげて表示する時に、2つの画面のつなぎ目を目立たなくすることができます。

ここでは、下に示すような映像信号のうち、赤枠で囲われた部分を左右2台のプロジェクターからの映像を横につなげて表示する場合について説明します。

2台のプロジェクターには、同じ信号を入力します。下図のように、プロジェクター1のHDMI入力に信号源からのHDMI信号を入力し、プロジェクター1のHDMI出力信号をプロジェクター2のHDMI入力に接続すると便利です。分配器を使用して同じ信号を入れることもできます。

2つの映像の重なり部分は1台の映像幅の10%以上になるようにしてください。(20%程度を推奨します。)



# 各種設定のしかた

## 手順2

プロジェクター1の拡大率を設定します。メニューから[スクリーン]→[詳細設定]→[部分拡大]→[水平拡大]を選び、水平方向の拡大率を設定します。拡大率は%の数値となっていますので、『水平の台数 × 100 - 重なり部分(%)』となるように調整します。

同様に[垂直拡大]も縦横比が不自然にならないように、[水平拡大]と同じ値になるように調整します。

また、メニューから[スクリーン]→[詳細設定]→[部分拡大]→[垂直位置]を調整して、投写したい映像左側が映るようにします。

プロジェクター2の投影画像は以下のようになります。



## 手順3

プロジェクター2の[水平拡大]、[垂直拡大]、[垂直位置]を、プロジェクター1と同じ値になるように調整します。

次に[スクリーン]→[詳細設定]→[部分拡大]→[垂直位置]を調整して右側が映るように調整します。

プロジェクター2の投影画像は以下のようになります。



# 各種設定のしかた

## Note

❖ 重なっている部分の位置調整が完全にできず、2重に見える状況を解消できない場合は、[グリッド補正]を使用してグリッドの交点ごとに位置を調整できます。これにより、ほとんど2重に見えないようにすることが可能です。

❖ [グリッド補正]を行う場合は、PCから格子状の画面(空白のExcelなど)を表示させると調整しやすくなります。この場合、画面全体が見えず操作がしにくいので、プロジェクター2のHDMI Outにモニターを接続すると便利です。

❖ 黒い画面を表示した場合、重なった部分が明るく見えます。本機には黒レベルの調整機能はありませんので、これを低減することはできません。

## 手順4

2台のプロジェクターから投写されている映像が重なる部分の画像が完全に重なって2重に見えないように、2台のプロジェクターの位置や、レンズシフト・ズームを調整します。

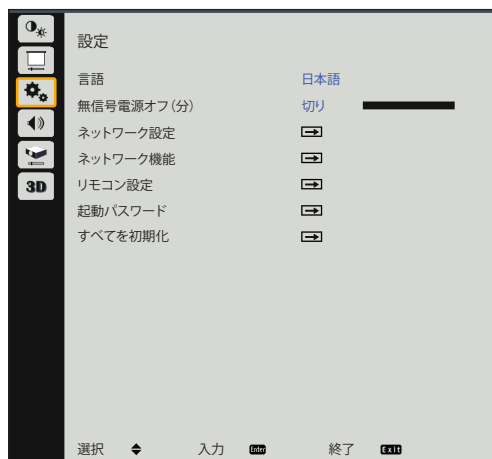
調整が終わると、投写される映像は重なった分が明るい映像となります。

次にブレンディングの幅を調整します。これを調整することにより、重なった部分は徐々に暗くなり、つなぎ目を目立たなくすることが可能です。

プロジェクター1は画面右側の、プロジェクター2は画面左側のブレンディング幅を、重なっている部分に合わせて調整します。



# 各種設定のしかた



## 設定

### 言語

メニュー操作に使用する言語を選びます。

### 無信号電源オフ(分)

本機に入力されている信号が無信号になってから自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。「切り」を選ぶと無信号になっても電源は切れません。

#### Note

❖ 「無信号電源オフ(分)」の工場出荷時の設定は 20 分です。

### ネットワーク設定

ネットワークの設定をします。設定に当たっては必ずネットワーク管理者の指示に従ってください。

#### ▶ LAN設定

- DHCP:自動的にIPアドレスなどを取得するDHCP機能の入り/切りを設定します。
- IP アドレス:IP アドレスを設定します。DHCPが「入り」のときは、取得した IP アドレスを表示します。

#### Note

❖ 本機を既存のネットワークに接続する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従ってください。

# 各種設定のしかた

## Note

❖ ゲートウェイを使用しない場合でも、ゲートウェイには本機と同一セグメント内のIPアドレスを設定してください。

❖ IPアドレス・ゲートウェイ・DNSに設定できる値は、223.255.255.255 までです。

- サブネットマスク: サブネットマスクを設定します。または、サーバーから提供されたサブネットマスクを表示します。
- ゲートウェイ: 本機が接続されるネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。または、サーバーから提供されたネットワークのデフォルトゲートウェイを表示します。
- DNS: ドメインネームシステム (DNS) サーバーの IP アドレスを表示します。
- 適用: LAN 設定で行った変更を適用します。
- MAC アドレス: MAC アドレスを表示します。
- ▶ 初期化: ネットワーク設定を工場出荷時の状態に初期化します。
- ▶ LAN インターフェイス: 競合を避けるために、LAN インターフェイスを LAN 端子または HDBaseT に指定します。

## Note

❖ 不正アクセスを防ぐために、使用しない機能を無効にすることをお勧めします。

❖ 本機はPJLink Class2に対応しています。

## ネットワーク機能

ネットワークの各機能の「入り」「切り」などを設定します。

- ▶ Extron: Extron 社のデバイスで本機を制御します (ポート: 4023)。詳細については、<http://www.extron.com> をご覧ください。
- ▶ PJLink: PJLink で本機を制御する機能の「入り」「切り」を設定します。(ポート: 4352)。詳細については、<http://pjlink.jbmia.or.jp> をご覧ください。
- ▶ PJLink 通知アドレス: 通知先のIPアドレスを設定します。
- ▶ PJLink 設定を適用: PJLink 通知アドレスを設定したあと、[PJLink 設定を適用] を選んで変更を反映します。
- ▶ AMX: AMX デバイスで本機を制御する機能の「入り」「切り」を設定します。(ポート: 9131)。Device discoveryに対応しており、本機を検出することができます。詳細については、<http://www.amx.com> をご覧ください。
- ▶ Telnet: Telnet 接続を介して RS232 コマンドを使用して本機を制御する機能の「入り」「切り」を設定します。(ポート: 3023)。
- ▶ Webサーバー: ウェブブラウザで本機を制御する機能の「入り」「切り」を設定します。
- ▶ 初期化: ネットワーク機能の設定を工場出荷時の状態に初期化します。



## リモコン設定

リモコンに関する設定をします。

- ▶ 上面受光部: 上部のリモコン受信機を有効または無効にします。
- ▶ 前面受光部: 前面のリモコン受信機を有効または無効にします。
- ▶ HDBaseT 端子: (本機では使用しません)
- ▶ リモコンID: リモコン ID を設定します。29ページを参照してください。

### Note

- ❖ ID の範囲は 00 ～ 99 です。

## 起動パスワード

起動パスワードに関する設定をします。

- ▶ 起動パスワード: 「入り」を選択すると、本機の電源投入時にパスワードの入力が必要になります。「切り」を選択すると、パスワードの確認なしで本機の電源を入れることができます。
- ▶ パスワードの変更: パスワードを変更します。

### Note

- ❖ 「すべてを初期化」を実行しても、起動パスワード/レンズメモリー/歪み補正/ブレンディング/ネットワーク機能/ネットワーク設定は初期化されません。
- ❖ 歪み補正のモードやブレンディングは、歪み補正の初期化で初期化できます。

## すべてを初期化

設定を工場出荷時デフォルト値にリセットします。



# 各種設定のしかた



## 音声

### ミュート

一時的に音声出力を停止します。



#### Note

※ 「ミュート」機能は、内蔵スピーカーと音声出力端子の両方に有効です。

- ▶ 「入り」を選択すると、音声が出力されません
- ▶ 「切り」を選択すると、音声が出力されます。

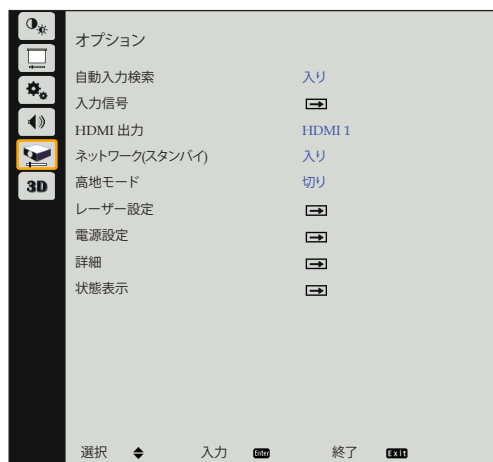
### 音量

音量を調整します。



- ▶ ◀キーを押すと音量が下がります。
- ▶ ▶キーを押すと音量が上がります。

# 各種設定のしかた



## オプション

### 自動入力検索

「入り」を選択すると、表示中の入力信号が途絶えた際に、別の入力信号を自動的に検索します。「切り」を選択すると、指定された入力端子の信号を出力し続けます。

### 入力信号

自動入力検索が「入り」の時に検索する信号を選択します。「決定」を押すと開くサブメニューで、検索する信号に「決定」を押してチェックを入れます。

### HDMI 出力

HDMI出力端子に出力する信号を、HDMI1、HDMI2から選びます。

### ネットワーク(スタンバイ)

「入り」を選択すると、スタンバイ時にもネットワーク機能を使用できます。  
「切り」を選択すると、スタンバイ時はネットワーク機能は使用できません。

### 高地モード

本機を1500m以上の標高で使用する場合は、高地モードを「入り」に設定します。

# 各種設定のしかた

## レーザー設定

レーザー光源の設定をします。

- ▶ レーザー電力モード：
  - 一定電力：一定の電力で点灯します。
  - 一定輝度：一定の明るさを維持するように電力を制御します。
  - エコ：レーザー光源を低い電力で動作させます。消費電力が下がり、光源の寿命が延びます。
- ▶ レーザー電力：一定電力モードの電力を調整します。

## 電源設定

サブメニューで本機の電源に関する設定をします。変更は、次の電源投入時から反映されます。

- ▶ 自動電源オン：「入り」にすると、本機にAC電源が供給されると自動的に電源が入ります。
- ▶ 冷却時間：本機の電源を切ったあとの冷却時間を設定します。「延長」を選ぶと、電源を切る操作をしたあとでも、60秒の間は、すぐに電源を再投入することができます。
- ▶ 入力検知起動：「入り」にすると、信号が入力されると自動的に本機の電源が入ります。
- ▶ 内蔵時計設定：本機に内蔵されている時計機能の設定をします。
  - 時刻合わせ：「自動（NTPサーバー）」を選ぶと、NTPサーバーより自動的に日時情報を取得します。
  - 日付：内蔵時計の日付を設定します。
  - 時刻：内蔵時計の時刻を設定します。
  - 夏時間：「入り」にすると、夏時間が設定され時計が1時間進みます。
  - NTPサーバー：使用するNTPサーバーをリストから選びます。
  - タイムゾーン：本機を使用する場所のタイムゾーンを選びます。この情報はNTPサーバーを利用した時刻設定に使用します。日本国内で使用する場合は、UTC+09:00を選びます。
  - 更新間隔：NTPサーバーを利用した時刻情報取得の間隔を設定します。

### Note

❖ HDBaseT端子で入力検知起動を使用するには、ネットワーク（スタンバイ）を「入り」にします。

### Note

❖ NTPサーバーを使用するには、本機がインターネットに接続されていることを確認してください。

# 各種設定のしかた

## Note

❖ 「時刻合わせ」を「自動 (NTPサーバー)」にしたときは、「日付」、「時刻」の変更はできません。

❖ 「時刻合わせ」を「手動」にしたときは、「夏時間」、「NTPサーバー」、「タイムゾーン」、「更新間隔」の設定はできません。

## Note

❖ スリープタイマーで自動的に電源が切れるまでの時間は多少の誤差がある場合があります。

- 適用: 内蔵時計設定の変更を反映します。

▶ スケジュール: 本機内蔵のプログラムタイマーにより、指定された動作 (イベント) を各曜日の指定時刻に実行することができます。

- 内蔵時計設定: 内蔵時計の日時が表示されます。

- タイマー: プログラムタイマー機能の「入り」「切り」を設定します。

- 本日の設定: 本日のタイマー設定を表示します。

- 各曜日の設定: 各曜日のスケジュールを設定します。

**タイマー有効:** タイマーを使用するときは有効にします。

**イベント:** 本機は1日に16個のイベントを設定できます。各イベントを設定します。

### イベント種類

イベントの種類を「なし」「電源」「入力信号」「レーザー電力モード」「AVミュート」から選びます。

#### 「電源」を選んだとき

電源の入り/切り (スタンバイ) を切り換えます。「電源オン」「スタンバイ (LAN入)」「スタンバイ (LAN切)」から切り替えます。

#### 「入力信号」を選んだとき

入力信号を切り換えます。「コンピューター」「HDMI1」「HDMI2」「HDBaseT」から選びます。

#### 「レーザー電力モード」を選んだとき

光源のレーザー電力を切り換えます。「標準」「エコ」から選びます。

#### 「AVミュート」を選んだとき

AVミュートの「入り」「切り」を切り替えます。

**初期化:** イベントの内容を消去します。

**イベントをコピー:** 選んだ曜日に設定されたタイマーの内容を別の日にコピーできます。コピー先の曜日を選んでください。

**この日のタイマー設定を初期化:** 選んだ曜日のタイマー設定を消去します。

- 初期化: すべてのタイマー設定を消去します。

▶ スリープタイマー: スリープタイマーを設定します。設定した時間が経つと自動的に電源が切れます。

## 詳細設定

▶ 信号判定モード: 自動判定が難しい信号の判定を、ワイド信号優先にするか、4:3信号優先にするかを切り替えます。

▶ ユーザーキー割当: リモコンのユーザー1キーとユーザー2キーに割り当てる機能を、「割当なし」「アスペクト比」「フリーズ」「ミュート」「音量」「状態表示」から選びます。

▶ ステータス表示: 入力信号が切り替わった時などに画面の右下に表示されるメッセージの「入り」「切り」を切り替えます。

▶ トリガー出力: 本機では使用しません。

▶ 調整データ: 本機は、ユーザーが調整した内容を5つのメモリーに

# 各種設定のしかた

記憶することができます。

- 調整データの保存: 調整した調整値をメモリーに記憶します。記憶するメモリーを選んでください。
- 調整データの読み込み: 以前に調整した調整値をメモリーから読み出します。読み出すメモリーを選んでください。
- メモリーの消去: 記憶した調整値を消去します。
- 保存できる調整データは以下です。

スクリーン: アスペクト比、サンプリング位相、サンプリング周波数、水平位置、垂直位置、自動天吊りモード、設置状態、PIP/PBP (画面入れ替え以外)、詳細設定 (ブレンディング以外)

設定: 言語、自動電源オフ、リモコン設定

音声: 全項目

オプション: 自動入力検索、入力信号、HDMI出力、ネットワーク (スタンバイ)、高地モード、レーザー設定、電源設定 (内臓時計設定とスケジュール以外)、スリープタイマー、詳細設定 (サービスモード以外)

- ▶ サービスモード: サービスマンが使用するメニューです。一般の方は使用できません。

## 状態表示

本機の情報を表示します。

- ▶ 本体情報: 使用時間が表示されます。
- ▶ システム状態: スタンバイ時のネットワーク機能、レーザー電力モード、レーザー使用時間 (標準、エコ)、内部温度を表示します。
- ▶ 入力信号: 現在入力されている信号の状態を表示します。
- ▶ 通信: リモコンID、ネットワーク設定、各種コントロール機能の設定状況を表示します。
- ▶ ファームウェアバージョン: 本機で使用されている各種ファームウェアのバージョンを表示します。



## 3D設定

本機では使用しません。

## ウェブブラウザで本機を制御する

本機はウェブブラウザを使用して PC などの機器から制御できます。

### システム要件

ウェブブラウザからの制御を使用するには、制御する機器で使用するウェブブラウザが下記のものであることを確認してください。

- Microsoft Edge
- Firefox
- Chrome

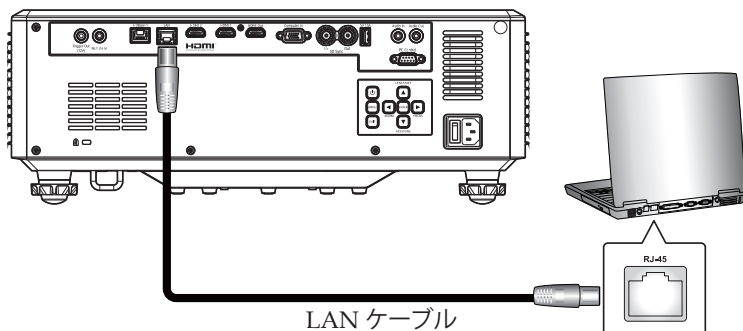
### 接続

本機とPC等を同じネットワークに接続して、ウェブブラウザのアドレスバーに本機のIPアドレスを入力すると、本機のウェブページを表示できます。

1. メニューから本機のIPアドレスを確認します。
  - [設定] > [ネットワーク設定] > [LAN 設定] > [IP アドレス] を選ぶとIPアドレスが表示されます。
2. ウェブブラウザを開き、アドレスバーに1.で確認したIPアドレスを入力します。
3. 本機のウェブページが表示されます。

### 本機をコンピューターに直接接続する

本機とコンピューターなどを直接接続することもできます。この場合は本機とコンピューターなどのIPアドレスを手動で設定します。



# LAN制御機能

## 1. 本機のIPアドレスを設定します。

- メニューから、[設定] > [ネットワーク設定] > [LAN 設定] を選択します。

LAN設定	
DHCP	切り
IP アドレス	192 . 168 . 0 . 100
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0
ゲートウェイ	192 . 168 . 0 . 1
DNS	0 . 0 . 0 . 0
適用	
MAC アドレス	00:50:41:8F:1E:DB
選択	入力  終了

- DHCP を「切り」にして、本機の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。
  - 「適用」を押します。
- ## 2. LAN インターフェイスを「LAN 端子」に設定します。
- メニューから、[設定] > [ネットワーク設定] > [LAN インターフェイス] で「LAN 端子」を選択します。

ネットワーク設定	
LAN設定	
初期化	
LANインターフェイス	LAN端子
選択	入力  終了

- 「適用」を押します。



# LAN制御機能

3. ウェブサーバー機能を有効にします。
  - メニューから、[設定] > [ネットワーク機能] > [Web サーバー] を選択します。



- 「入り」を選択します。
4. ウェブブラウザを開き、アドレスバーに本機の IP アドレス (「192.168.0.100」など) を入力します。
  5. 本機のウェブページが表示されます。

## Note

❖ 初回ログイン時にパスワードの設定が必要です。詳細は 74 ページをご参照ください。



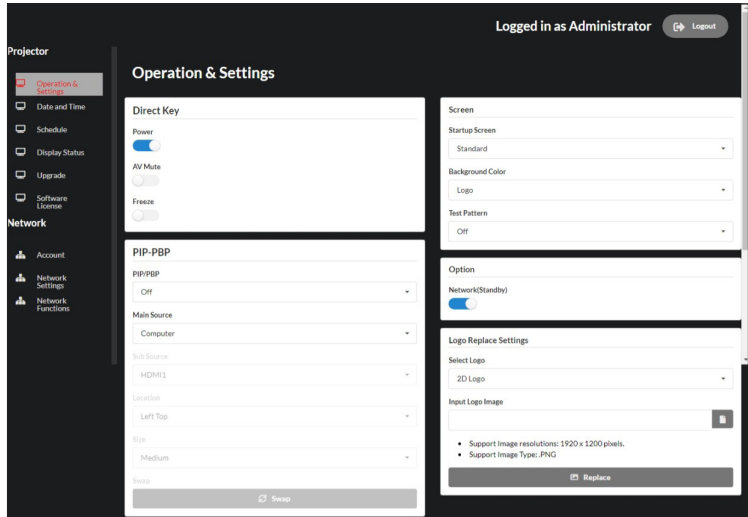
# LAN制御機能

## Note

❖ ウェブブラウザで制御中に本機のメニューを操作した場合、操作した内容がブラウザの表示に反映されないことがあります。最新の情報に更新するには、ブラウザで再読み込みをしてください。Windowsの場合はF5キー、Macintoshの場合はCommand+Rでも再読み込みできます。

## 本機のウェブページ

本機に管理者としてログインすると、下記のウェブページが表示されます。左側にメニューが表示されています。ユーザーでログインしたときは、Operation and Sstings、Display Status、Software Licenseのみが表示されます。



メニュー	説明
<b>Projector</b>	
Operation and Settings	入力切り替えやAVミュートなどの操作や、ユーザーロゴの登録などができます。
Date and Time	内蔵時計に関する設定ができます。
Schedule	タイマーに関する設定ができます。設定を変更した後は必ず右上の[Save]を押してください。このページから抜ける時は、[Save]したかの確認メッセージが表示されます。
Display Status	本機の動作状況やファームウェアのバージョンを表示します。
System Upgrade	ファームウェアの更新ができます。最新のファームウェアは、弊社ホームページよりダウンロードできます。
Software License	本機に使用している第三者のソフトウェアのライセンス情報を表示します。

# LAN制御機能

メニュー	説明
<b>Network</b>	
Account	ウェブブラウザを使って制御するとき使用するアカウントの設定をします。アカウントには管理者 (Administrator)とユーザー (User)の2種類があります。
Network Settings	ネットワークの設定を変更できます。変更した後 [Apply]を押すと反映します。
Network Functions	各ネットワーク機能の入り/切りと、PJLinkのパスワード、通知アドレスの設定ができます。また、ネットワーク機能の初期化ができます。

## Note

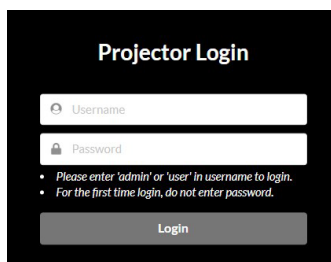
❖ 本Webページのアカウントには管理者(admin)とユーザー(user)の2種類があります。

❖ Web サーバーとの通信は暗号化されていません。他の情報機器と同じパスワードを使用することは避けてください。

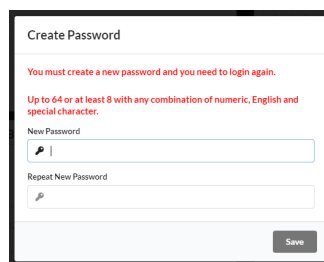
❖ 本機のWebサーバーは、英語表示となります。他の言語への変更はできません。

## Projector Login

ユーザー名に「admin」または「user」を入力してログインします。初回ログイン時は、パスワードを入力せずに「ログイン」ボタンをクリックしてください。(図1)  
次に、文字、数字、記号を組み合わせで 8 文字の新しいパスワードを作成し、「保存」をクリックします。(図2)



The image shows the 'Projector Login' screen. It has a dark background with white text. At the top, it says 'Projector Login'. Below that, there are two input fields: 'Username' and 'Password'. The 'Username' field has a small icon of a person. The 'Password' field has a small icon of a lock. Below the input fields, there are two bullet points: 'Please enter 'admin' or 'user' in username to login.' and 'For the first time login, do not enter password.' At the bottom, there is a 'Login' button.



The image shows the 'Create Password' screen. It has a light background with dark text. At the top, it says 'Create Password'. Below that, there is a red message: 'You must create a new password and you need to login again.' Below the message, there is a red message: 'Up to 64 or at least 8 with any combination of numeric, English and special character.' Below the message, there are two input fields: 'New Password' and 'Repeat New Password'. The 'New Password' field has a small icon of a key. The 'Repeat New Password' field has a small icon of a key. At the bottom right, there is a 'Save' button.

## Note

❖ ログデータの書き替えは、決められた解像度(1920x1200)、ファイル形式(png)のファイルのみ読み込むことができます。それ以外のファイルでは書き替えはできません。また、画像の内容によっては書き込みできないこともあります。

## Operation & Settings

リモコンのダイレクトキー相当の機能、PIP/PBPの設定、ロゴデータの書き替えなどの機能があります。

## Date and Time

内蔵時計の設定ができます。

## LAN制御機能

### Schedule

タイマーの設定ができます。曜日ごとに設定します。

[illegible]

# LAN制御機能

## Display Status

本機の設定や動作状況を表示します。



❖ Display Statusは、情報表示のみで変更はできません。

Projected

Operation & Settings  
Date and Time  
Schedule  
**Display Status**  
Upgrade  
Software License

Network  
Account  
Network Settings  
Network Functions

Logged in as Administrator Logout

### Display Status

Projector	
Model Name	PJ WDL6600 series
Current status	Normal
Total Projector Hours	43

System Status	
Network(Standby)	On
Laser Power Mode	Constant Luminance
Laser Hours Used	
Normal	13
Eco Mode	8
Temperature	43.0C

Signal	
Main Resolution	1920 x 1200
Main Signal Format	Analog
Main Pixel Clock	154.000Mhz
Main H.Frequency	74.038kHz
Main V.Frequency	59.95Hz
Main Color Space	RGB
Sub Resolution	--
Sub Signal Format	--
Sub Pixel Clock	--
Sub H.Frequency	--
Sub V.Frequency	--
Sub Color Space	--

Communication	
Remote ID	0
LAN Interface	LAN Port
MAC Address	00:50:41:8E:DF:46
DHCP	Off
IP Address	192.168.0.100
Subnet Mask	255.255.255.0
Gateway	192.168.0.1
DNS	0.0.0.0
Control Extron	On
Control PJ Link	On
Control AMX	On
Control Telnet	On
Control Web Server	On

Firmware Version	
Main Version	R0.4.0
I-Scaler	V01.22
F-MCU Version	E90.01
A-MCU Version	A00.09
LAN Version	N01.08
Formatter Version	F01.66(060602-19)
HDBaseT Version	H13.14.71.00.00

## System Upgrade

本機のファームウェアの更新を行います。更新用のファームウェアは弊社ホームページよりダウンロードできます。

[https://support.ricoh.com/bbv2/html/dr\\_ut\\_d/projector/](https://support.ricoh.com/bbv2/html/dr_ut_d/projector/)を確認ください。

Projected

Operation & Settings  
Date and Time  
Schedule  
Display Status  
**Upgrade**  
Software License

Network  
Account  
Network Settings  
Network Functions

Logged in as Administrator Logout

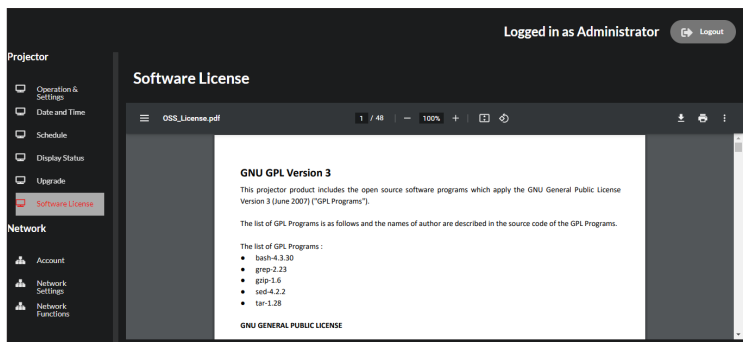
### System Upgrade

Firmware Version	
Main Firmware	R0.4.0

System Upgrade	
New Firmware	Select upload file

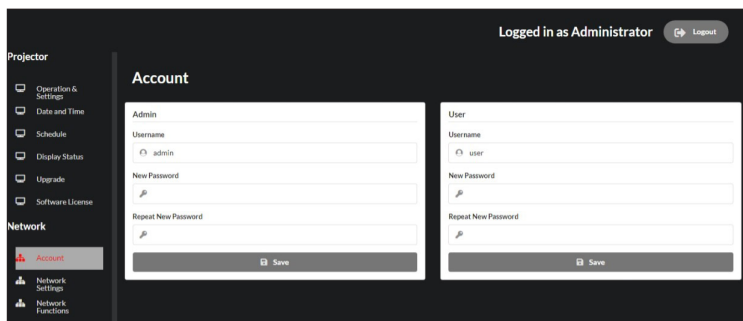
## Software License

本機で使用している第三者のソフトウェアのライセンスを表示します。



## Account

このWebページのアカウント情報を設定します。アカウントは管理者(admin)とユーザー(user)の2種類があり、管理者は全機能を、ユーザーはOperation & Settings, Display Status, Software Licenseのみ使用できます。



## Network Settings

LANの設定ができます。設定を入力後、[Apply]をクリックします。IPアドレスを変更した場合は、ウェブブラウザに新しいアドレスを入力してください。

The screenshot shows the 'Network Settings' page of a projector's web interface. The user is logged in as Administrator. The left sidebar has a 'Network' section with 'Network Settings' highlighted. The main content area is divided into 'General' and 'LAN Settings'. The 'General' section has a 'LAN Interface' dropdown menu. The 'LAN Settings' section includes fields for 'DHCP' (a toggle switch), 'IP Address' (192.168.0.100), 'Subnet Mask' (255.255.255.0), 'Gateway' (192.168.0.1), and 'DNS' (0.0.0.0). An 'Apply' button is at the bottom of the LAN Settings section. Below this is an 'Information' section showing the 'MAC Address' as 00:50:41:8E:DF:46.

## Network Functions

ネットワーク各機能の入り/切りが設定できます。また、PJLinkのパスワードや通知アドレスの設定、ネットワーク機能の工場出荷状態への初期化ができます。



❖ PJLinkのデフォルトのパスワードは「Projector」です。最大32文字までの制限があります。

The screenshot shows the 'Network Functions' page of the projector's web interface. The user is logged in as Administrator. The left sidebar has a 'Network' section with 'Network Functions' highlighted. The main content area is divided into 'General' and 'PJLink' sections. The 'General' section has toggle switches for 'Extcon', 'PJLink', 'ANX', 'Telnet', and 'Web-Server'. The 'PJLink' section has a 'Authentication' toggle switch, a 'Change Password' button, and a 'PJLink Notification' field with the value 192.168.0.3. A 'Save' button is below the notification field. At the bottom, there is a 'Reset' section with a 'Reset control' button.



## プロジェクター管理ユーティリティで本機を制御する

### Note

❖ 本ソフトウェアは、当社のプロジェクターを管理するためのソフトウェアです。当社のプロジェクター以外の製品を管理すると、正常に動作しないことがあります。詳細についてはユーティリティのヘルプを参照してください。

❖ プロジェクター管理ユーティリティをアンインストールするときは、「コントロールパネル」の「プログラムと機能」で、“Projector Management Utility”を削除してください。

❖ 本機はPJLink Class2に対応していますが、本ソフトウェアはClass1への対応となっています。本機が対応するすべてのPJLinkコマンドには対応していないことをご了承ください。

### プロジェクター管理ユーティリティについて

プロジェクター管理ユーティリティはPJLink クラス1 の規格に適合し、クラス1 のすべてのコマンドに対応しています。1台のパソコンで、ネットワークに接続しているプロジェクターを100台まで管理できます。

プロジェクター管理ユーティリティの動作環境は次のとおりです。

- 対応OS
  - Windows 8.1 Pro / Enterprise (32bit / 64bit版)
  - Windows 10 (32bit / 64bit版)
  - メモリーサイズ
- 使用しているOS の推奨メモリーサイズに準拠
- 表示解像度
  - 800 × 600 ピクセル以上

### プロジェクター管理ユーティリティをインストールする。

プロジェクター管理ユーティリティは弊社ホームページからダウンロードできます。

[https://support.ricoh.com/bbv2/html/dr\\_ut\\_d/projector/](https://support.ricoh.com/bbv2/html/dr_ut_d/projector/)

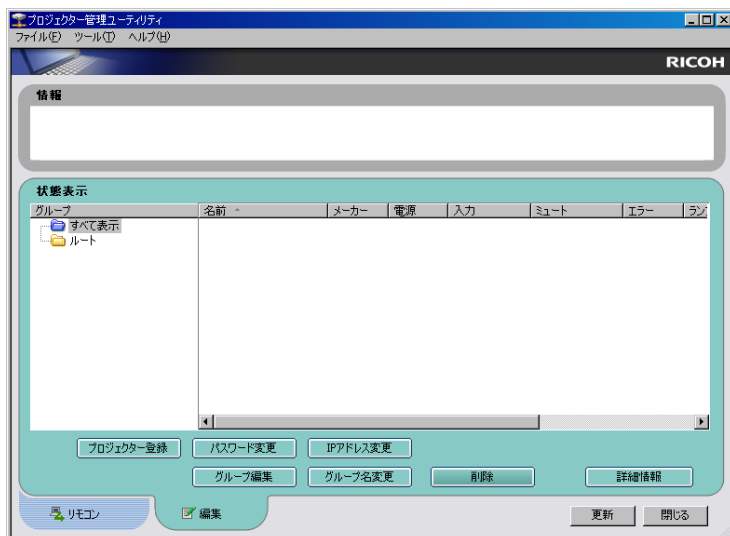
ユーティリティをインストールまたはアンインストールするときは、管理者権限でログインしてください。

1. すべてのアプリケーションを閉じます。
2. ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
3. 画面の指示に従って、インストールを実行します。
4. インストールが完了したら、「完了」をクリックします。デスクトップにショートカットアイコンが作成されます。

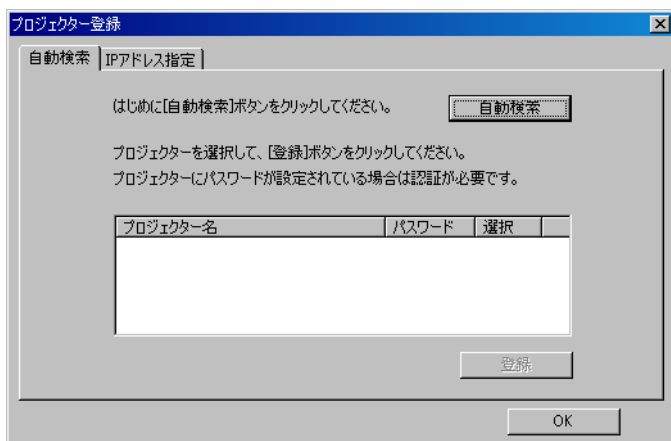
# LAN制御機能

## プロジェクターを登録する

1. 自動検索でプロジェクターを登録する場合  
[プロジェクター登録] ボタンをクリックします。

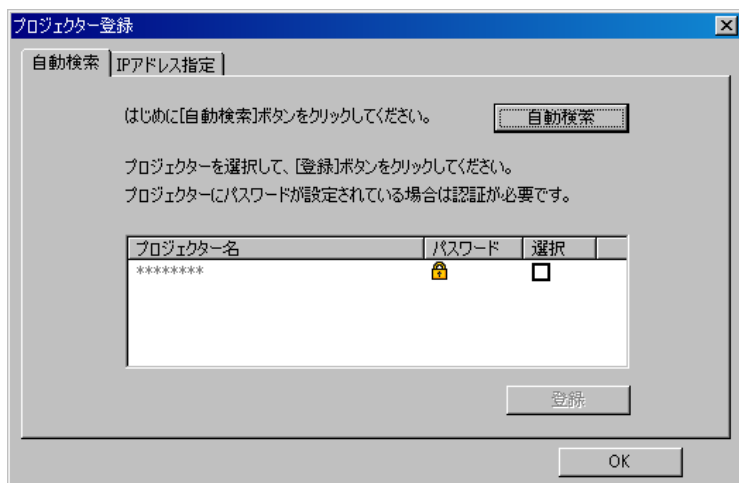


[自動検索] ボタンをクリックします。

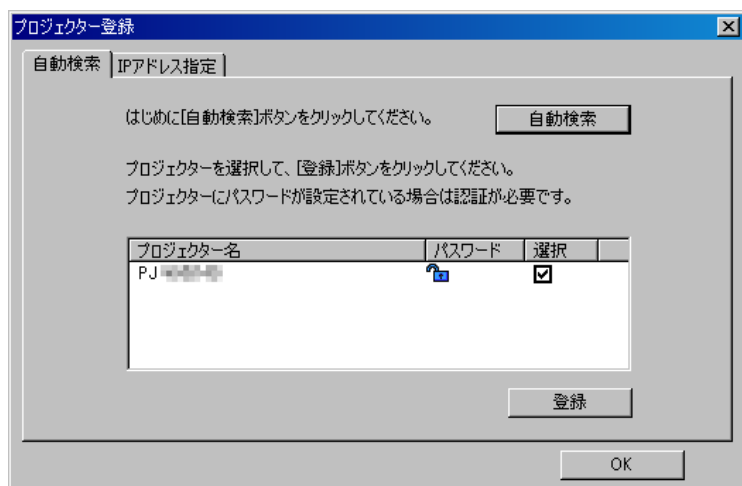


# LAN制御機能

ネットワーク内のPJLink対応プロジェクターの一覧が表示されます。パスワードが設定されているプロジェクターは、認証されるまで「\*\*\*\*\*」と表示されます。



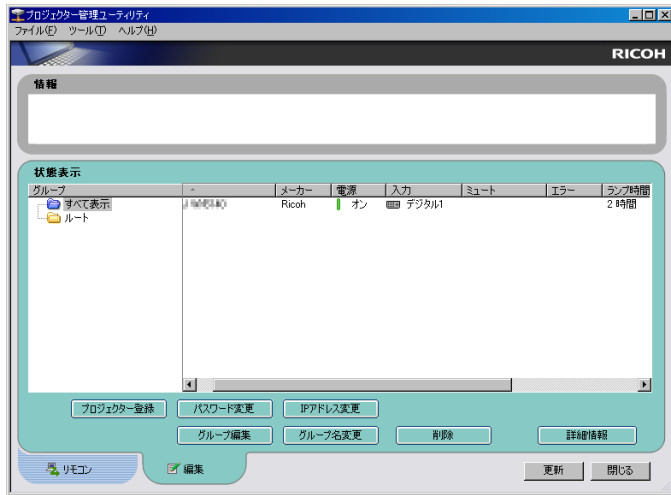
コントロールしたいプロジェクターを選んで、[登録]ボタンをクリックします。パスワードが有効に設定されている場合は、パスワード認証が必要になります。



[OK]ボタンをクリックしてもとの画面に戻ります。

# LAN制御機能

登録されたプロジェクターが表示されます。



# LAN制御機能

## 2. IPアドレスを直接入力してプロジェクターを登録する場合

・プロジェクターのIPアドレスを入力して[確認]ボタンをクリックすると、プロジェクター名が表示されます。問題が無ければ[登録]ボタンをクリックしてください。プロジェクターが登録されます。

プロジェクト登録

自動検索 IPアドレス指定

IPアドレスを入力して、[確認]ボタンをクリックしてください。  
プロジェクター名を確認して、[登録]ボタンをクリックしてください。

IP アドレス 192 168 0 100

プロジェクター名 PJ WX5140

確認 登録

OK

[OK]ボタンをクリックすると元の画面に戻ります。

# LAN制御機能

## プロジェクター管理ユーティリティでプロジェクターを制御する

プロジェクターを制御するには、「リモコン」タブを押してリモコン画面に切り替えます。一覧表示されている中から制御したいプロジェクター(/グループ)を選び、画面下部のボタンで制御します。

### [電源] ボタン

プロジェクター(/グループ)一覧から選択したプロジェクターおよびグループの電源を「オン/オフ」します。



### [入力切換] ボタン

プロジェクター(/グループ)一覧から選択したプロジェクターおよびグループの入力を切換えます。プロジェクターが指定された入力に対応していない場合は、入力は切換わりません。



本機のプロジェクター管理ユーティリティの入力表示と実際の入力信号の対応は以下のようになっています。

本機の入力名	PJLink の入力名
Computer	RGB1
HDMI1	デジタル1
HDMI2	デジタル2
HDBaseT	NETWORK1

### [ミュート] ボタン

プロジェクター(/グループ)一覧から選択したプロジェクターおよびグループのミュートを「オン/オフ」にします。本機では映像のみや音声のみのミュートに対応していないため、映像や音声を選んでもミュートは切換わりません。



### [詳細情報] ボタン

選択されたプロジェクターについての詳細情報画面を表示します。

# 故障かな・・・と思ったときは

本機に問題が発生した場合は、以下を参照してください。  
問題が解決しない場合はお買い上げの販売店または  
サービス実施店にお問い合わせください。

## 問題:スクリーンに画像が表示されない

- ▶ すべてのケーブルが、正しく接続されていることを確認してください。
- ▶ 端子のピンが曲がったり折れたりしていないことを確認してください。
- ▶ 本機の電源が入っていることを確認してください。
- ▶ 「AVミュート」機能が有効になっていないことを確認します。

## 問題:画像が部分的にしか表示されない、スクロールするまたは正しく表示されない

- ▶ リモコンの「オートセット」を押します。
- ▶ コンピューターの表示設定を調整します。解像度設定が 1600 x 1200 (HDMI の場合は3840 x 2160) 解像度以下であることを確認してください。オペレーティングシステムのヘルプファイルを参照してください。
- ▶ 解像度を変更できない場合やフリーズした場合は、本機を含むすべての機器を再起動してください。
- ▶ メニューを表示して「スクリーン > アスペクト比」から、正しいアスペクト比を選んでください。

## 問題:映像のピントが合わない



❖ 本機の電源を入れた直後は映像が安定しません。映像の調整は投写開始から30分以上経ってから行ってください。



- ▶ リモコンまたは本機操作部の「フォーカス ▲」または「フォーカス ▼」ボタンを押して、フォーカスを調整してください。
- ▶ スクリーンまでの距離が所定の範囲に入っていることを確認してください。41～43ページを参照してください。
- ▶ 台形補正、4点補正、部分拡大などを行うと、補正前に比べて画像が鮮明でなくなります。これはデジタル信号処理に伴うもので故障ではありません。

## 問題:DVDを表示しているとき、画像が伸びる

- ▶ メニューから「スクリーン > アスペクト比」を選択して、適切なアスペクト比で画像を選んでください。

# 故障かな・・・と思ったときは

## 問題:画像が大きすぎる、または小さすぎる

- ▶ リモコンの「ズーム 」または「ズーム 」、あるいは本機操作部の「ズーム」を押して、投写画像のサイズを調整します。
- ▶ 本機をスクリーンに近づけるか、スクリーンから離します。

## 問題:ノートパソコンの画面にプレゼンテーションが表示されない

- ▶ ノートパソコンの機種によっては外部ディスプレイを有効にすると本体画面が消えることがあります。詳細については、お使いのコンピューターの取扱説明書を参照してください。





## 問題:画像が不安定、またはちらつく

- ▶ コンピューター入力を使用しているときは、「サンプリング位相」または「サンプリング周波数」を調整してください。
- ▶ コンピューターのディスプレイ設定が、本機が対応しているモードと一致しているか確認してください。

## 問題:画像が反転する

- ▶ メニューで「スクリーン > 設置状態」を切り換えてください。

## 問題:画面が四角く表示されない

- ▶ 可能であれば、本機をスクリーンに対して垂直になるような向きに設置し、レンズシフトを使用して投写位置を調整します。
- ▶ リモコンの「台形補正  /  /  / 」や、メニューから台形補正や4点補正を使用して画面の形を調整します。

## 問題:使用中に電源が切れる

- ▶ 出荷状態では20分間無信号の状態が続くと自動的に電源が切れます。必要に応じて「設定 > 無信号電源オフ」を切り換えてください。
- ▶ 周囲の温度が高くないか確認してください。
- ▶ 吸気口や排気口がふさがれていないか確認してください。
- ▶ エアコンからの風が本機に直接あたっていないか確認してください。

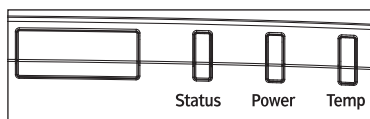


# 故障かな・・・と思ったときは

## インジケーターによる状態表示

Note

点灯=> ☀  
消灯=> ☒



状態	状態 (Status) インジケータ	電源 (Power) インジケータ		温度 (Temp) インジケータ
	(赤)	(赤)	(緑)	(赤)
スタンバイ	☒	☀	☒	☒
電源オン	☒	☒	☀	☒
起動中	☒	点滅 (1 秒オフ / 1 秒オン)	☒	☒
冷却中	☒	☒	点滅 (1 秒オフ / 1 秒オン)	☒
AV ミュート	点滅 (1 秒オフ / 1 秒オン)	☒	☀	☒































### 警告表示

電源障害	☀	☒	☒	☀
ファン 1 ロック	☒	☒	☒	点滅 (3 秒オフ / 3 秒オン)
ファン 2 ロック	☀	☒	☒	点滅 (3 秒オフ / 3 秒オン)
ファン 3 ロック	☒	☀	☒	点滅 (3 秒オフ / 3 秒オン)
ファン 4 ロック	☀	☀	☒	点滅 (3 秒オフ / 3 秒オン)
ファン 5 ロック	☒	☒	☒	点滅 (1 秒オフ / 1 秒オン)

Note

❖ ファン 4 ～  
8 は、RICOH PJ  
WUL6680のみ。

# 故障かな・・・と思ったときは

状態	状態 (Status) インジケータ	電源 (Power) インジケータ		温度 (Temp) インジケータ
	(赤)	(赤)	(緑)	(赤)
ファン 6 ロック				点滅 (1 秒オフ / 1 秒オン)
ファン 7 ロック				点滅 (1 秒オフ / 1 秒オン)
ファン 8 ロック				点滅 (1 秒オフ / 1 秒オン)
ホイールエラー				点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)
温度エラー				
レーザー温度エラー				
レーザー電圧エラー				
温度センサーエラー	点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)	点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)		
レーザーエラー				
ファームウェア更新中	点滅 (3 秒オフ / 3 秒オン)	点滅 (3 秒オフ / 3 秒オン)	点滅 (3 秒オフ / 3 秒オン)	点滅 (3 秒オフ / 3 秒オン)

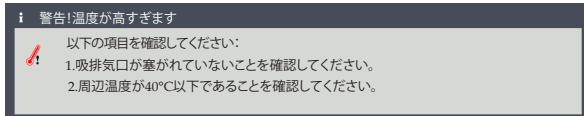
# 故障かな・・・と思ったときは

## Note

❖ 使用する環境によっては、吸排気口に埃がたまることがあります。このような状態で使用を続けると、内部の温度上昇を引き起こし、エラー・故障や寿命の低下の原因となります。このような時は掃除機などで慎重に取り除いてください。

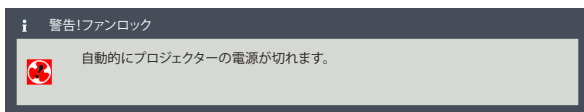
## 問題：メッセージリマインダー

- ▶ 温度エラー - 周囲温度が高すぎたり冷却が十分にできない時、「温度 (Temp)」インジケーターが赤く点灯し、自動で電源が切れます。周囲温度や冷却のための空気の流れが十分に確保されているか確認してください。



- ◆ ファンエラー - ファンが故障した場合、インジケーターが点灯します。インジケーター点灯の詳細については、84 ~ 85 ページ (インジケーターによる状態表示) を参照してください。

画面に次のメッセージが表示されたら、本機の使用を中止し、電源コードをコンセントから抜いてから、お買い上げの販売店またはサービス実施店にご連絡ください。



## 対応信号一覧表

A. コンピューター入力						
(1) PC信号						
モード	解像度	アスペクト比		垂直同期 (Hz)	RGB	YPbPr
VGA	640 x 350	1.83	64:35	85	V	X
	640 x 400	1.6	16:10	85	V	X
	640 x 480	1.33	4:3	60	V	X
				72	V	X
				75	V	X
				85	V	X
	720 x 400	1.8	9:5	70	V	X
				85	V	X
SVGA	800 x 600	1.33	4:3	60	V	X
				72	V	X
				75	V	X
				85	V	X
	832 x 624	1.77	53:30	75	V	X
	848 x 480			60	V	X
XGA	1024 x 768	1.33	4:3	60	V	X
				70	V	X
				75	V	X
				85	V	X
SXGA	1152 x 864	1.32	192:145	75	V	X
	1152 x 870			75	V	X
WXGA	1280 x 768	1.67	5:3	60	V	X
				75	V	X
				85	V	X
	1280 x 800	1.6	16:10	60	V	X
				75	V	X
				85	V	X
SXGA	1280 x 960	1.33	4:3	60	V	X
				85	V	X
	1280 x 1024	1.25	5:4	60	V	X
				75	V	X
				85	V	X

A. コンピューター入力						
モード	解像度	アスペクト比		垂直同期 (Hz)	RGB	YPbPr
WXGA	1360 x 768	1.78	16:9	60	V	X
	1366 x 768				V	X
SXGA+	1400 x 1050	1.33	4:3		V	X
WXGA+	1440 x 900	1.6	16:10		V	X
				75	V	X
WXGA++	1600 x 900	1.78	16:9	60	V	X
UXGA	1600 x 1200	1.33	4:3	50	V	X
				60	V	X
WSXGA+	1680 x 1050	1.6	16:10		V	X
WUXGA RB	1920 x 1200RB			50	V	X
				60	V	X

❖「V」対応信号

❖「X」非対応信号

## B. HDMI 入力

### (1) PC信号

モード	解像度	アスペクト比		垂直同期 (Hz)	RGB			YCbCr 4:4:4			YCbCr 4:2:2 8ビット
					8ビット	10ビット	12ビット	8ビット	10ビット	12ビット	
VGA	640 x 350	1.8	64:35	85	V	V	V	V	V	V	V
	640 x 400	1.6	16:10	85	V	V	V	V	V	V	V
	640 x 480	1.33	4:3	60	V	V	V	V	V	V	V
				72	V	V	V	V	V	V	V
				75	V	V	V	V	V	V	V
				85	V	V	V	V	V	V	V
	720 x 400	1.8	9:5	70	V	V	V	V	V	V	V
				85	V	V	V	V	V	V	V
SVGA	800 x 600	1.33	4:3	60	V	V	V	V	V	V	V
				72	V	V	V	V	V	V	V
				75	V	V	V	V	V	V	V
				85	V	V	V	V	V	V	V
				120	V	V	V	V	V	V	V
	832 x 624	1.77	53:30	75	V	V	V	V	V	V	V
	848 x 480			60	V	V	V	V	V	V	V
XGA	1024 x 768	1.33	4:3	60	V	V	V	V	V	V	V
				70	V	V	V	V	V	V	V
				75	V	V	V	V	V	V	V
				85	V	V	V	V	V	V	V
				120	V	V	V	V	V	V	V
SXGA	1152 x 864	1.32	192:145	75	V	V	V	V	V	V	V
	1152 x 870			75	V	V	V	V	V	V	V
WXGA	1280 x 768	1.67	5:3	60	V	V	V	V	V	V	V
				75	V	V	V	V	V	V	V
				85	V	V	V	V	V	V	V
	1280 x 800	1.6	16:10	60	V	V	V	V	V	V	V
				75	V	V	V	V	V	V	V
				85	V	V	V	V	V	V	V
				120	V	V	V	V	V	V	V

# 付録

## B. HDMI 入力

モード	解像度	アスペクト比		垂直同期 (Hz)	RGB			YCbCr 4:4:4			YCbCr 4:2:2
					8ビット	10ビット	12ビット	8ビット	10ビット	12ビット	8ビット
SXGA	1280 x 960	1.33	4:3	60	V	V	V	V	V	V	V
				85	V	V	V	V	V	V	V
	1280 x 1024	1.25	5:4	60	V	V	V	V	V	V	V
				75	V	V	V	V	V	V	V
				85	V	V	V	V	V	V	V
WXGA	1360 x 768	1.78	16:9	60	V	V	V	V	V	V	V
	1366 x 768				V	V	V	V	V	V	V
SXGA+	1400 x 1050	1.33	4:3		V	V	V	V	V	V	V
WXGA+	1440 x 900	1.6	16:10		V	V	V	V	V	V	V
				75	V	V	V	V	V	V	V
				85	V	V	V	V	V	V	V
WXGA++	1600 x 900	1.78	16:9	60	V	V	V	V	V	V	V
UXGA	1600 x 1200	1.33	4:3	50	V	V	V	V	V	V	V
				60	V	V	V	V	V	V	V
WSXGA+	1680 x 1050	1.6	16:10	V	V	V	V	V	V	V	
WUXGA RB	1920 x 1200RB			50	V	V	V	V	V	V	V
				60	V	V	V	V	V	V	V
(2) TV信号											
SDTV (480i)	720 x 480	1.5	3:2	59.94	V	V	V	V	V	V	V
				60	V	V	V	V	V	V	V
SDTV (576i)	720 x 576	1.25	5:4	50	V	V	V	V	V	V	V
EDTV (480p)	720 x 480	1.5	3:2	59.94	V	V	V	V	V	V	V
				60	V	V	V	V	V	V	V
EDTV (576p)	720 x 576	1.25	5:4	50	V	V	V	V	V	V	V
HDTV (1080i)	1920 x 1080	1.78	16:9		V	V	V	V	V	V	V
					59.94	V	V	V	V	V	V
					60	V	V	V	V	V	V
HDTV (720p)	1280 x 720			50	V	V	V	V	V	V	V
				59.94	V	V	V	V	V	V	V
				60	V	V	V	V	V	V	V
				120	V	V	V	V	V	V	V

## B. HDMI 入力

モード	解像度	アスペクト比		垂直同期 (Hz)	RGB			YCbCr 4:4:4			YCbCr 4:2:2
					8 ビット	10 ビット	12 ビット	8 ビット	10 ビット	12 ビット	8 ビット
HDTV (1080p)	1920 x 1080	1.78	16:9	23.98	V	V	V	V	V	V	V
				24	V	V	V	V	V	V	V
				25	V	V	V	V	V	V	V
				29.97	V	V	V	V	V	V	V
				30	V	V	V	V	V	V	V
				50	V	V	V	V	V	V	V
				59.94	V	V	V	V	V	V	V
				60	V	V	V	V	V	V	V
(3) 4K (*) 信号											
3840 x 2160	3840 x 2160	1.78	16:9	24	V	V	V	V	V	V	V
				25	V	V	V	V	V	V	V
				30	V	V	V	V	V	V	V
				50	V	X	X	V	X	X	V
				60	V	X	X	V	X	X	V
4096 x 2160 SMPTE	4096 x 2160	1.90	256:135	24	V	V	V	V	V	V	V
				25	V	V	V	V	V	V	V
				30	V	V	V	V	V	V	V
				50	V	X	X	V	X	X	V
				60	V	X	X	V	X	X	V

- ❖ 「V」対応信号を示します。
- ❖ 「X」非対応信号を示します。
- ❖ 「\*」4K信号はHDMI1入力のみ対応します。



# 付録

## C. HDBaseT デジタル

### (1) PC信号

モード	解像度	アスペクト比		垂直同期 (Hz)	RGB			YCbCr 4:4:4			YCbCr 4:2:2
					8ビット	10ビット	12ビット	8ビット	10ビット	12ビット	8ビット
VGA	640 x 350	1.8	64:35	85	V	V	V	V	V	V	V
	640 x 400	1.6	16:10	85	V	V	V	V	V	V	V
	640 x 480	1.33	4:3	60	V	V	V	V	V	V	V
				72	V	V	V	V	V	V	V
				75	V	V	V	V	V	V	V
				85	V	V	V	V	V	V	V
	720 x 400	1.8	9:5	70	V	V	V	V	V	V	V
				85	V	V	V	V	V	V	V
SVGA	800 x 600	1.33	4:3	60	V	V	V	V	V	V	V
				72	V	V	V	V	V	V	V
				75	V	V	V	V	V	V	V
				85	V	V	V	V	V	V	V
				120	V	V	V	V	V	V	V
	832 x 624	1.77	53:30	75	V	V	V	V	V	V	V
	848 x 480			60	V	V	V	V	V	V	V
XGA	1024 x 768	1.33	4:3	60	V	V	V	V	V	V	V
				70	V	V	V	V	V	V	V
				75	V	V	V	V	V	V	V
				85	V	V	V	V	V	V	V
				120	V	V	V	V	V	V	V
SXGA	1152 x 864	1.32	192:145	75	V	V	V	V	V	V	V
	1152 x 870			75	V	V	V	V	V	V	V
WXGA	1280 x 768	1.67	5:3	60	V	V	V	V	V	V	V
				75	V	V	V	V	V	V	V
				85	V	V	V	V	V	V	V
	1280 x 800	1.6	16:10	60	V	V	V	V	V	V	V
				75	V	V	V	V	V	V	V
				85	V	V	V	V	V	V	V
				120	V	V	V	V	V	V	V

## C. HDBaseT デジタル

モード	解像度	アスペクト比		垂直同期 (Hz)	RGB			YCbCr 4:4:4			YCbCr 4:2:2
					8ビット	10ビット	12ビット	8ビット	10ビット	12ビット	8ビット
SXGA	1280 x 960	1.33	4:3	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				85	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	1280 x 1024	1.25	5:4	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				75	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				85	✓	✓	✓	✓	✓	✗	✓
WXGA	1360 x 768	1.78	16:9	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	1366 x 768				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
SXGA+	1400 x 1050	1.33	4:3		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
WXGA+	1440 x 900	1.6	16:10		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				75	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				85	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
WXGA++	1600 x 900	1.78	16:9	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
UXGA	1600 x 1200	1.33	4:3	50	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				60	✓	✓	✓	✓	✓	✗	✓
WSXGA+	1680 x 1050	1.6	16:10	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
WUXGA RB	1920 x 1200RB			50	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				60	✓	✓	✓	✓	✓	✗	✓
(2) TV信号											
SDTV (480i)	720 x 480	1.5	3:2	59.94	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
SDTV (576i)	720 x 576	1.25	5:4	50	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
EDTV (480p)	720 x 480	1.5	3:2	59.94	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
EDTV (576p)	720 x 576	1.25	5:4	50	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
HDTV (1080i)	1920 x 1080	1.78	16:9		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					59.94	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
HDTV (720p)	1280 x 720			50	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				59.94	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				120	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

## C. HDBaseT デジタル

モード	解像度	アスペクト比		垂直同期 (Hz)	RGB			YCbCr 4:4:4			YCbCr 4:2:2
					8ビット	10ビット	12ビット	8ビット	10ビット	12ビット	8ビット
HDTV (1080p)	1920 x 1080	1.78	16:9	23.98	V	V	V	V	V	V	V
				24	V	V	V	V	V	V	V
				25	V	V	V	V	V	V	V
				29.97	V	V	V	V	V	V	V
				30	V	V	V	V	V	V	V
				50	V	V	V	V	V	V	V
				59.94	V	V	V	V	V	V	V
				60	V	V	V	V	V	V	V

- ❖ 「V」ビデオ形式がサポートされています。
- ❖ 「X」ビデオ形式はサポートされていません。

## 端子の構成

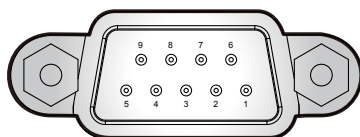
### 端子:コンピューター入力 (D-sub 15 ピン)



1	赤 (R) 入力 [R 出力]	9	DDC 5V [NC*]
2	緑 (G) 入力 [G 出力]	10	アース (垂直同期)
3	青 (B) 入力 [B 出力]	11	NC*
4	NC*	12	DDC データ [NC*]
5	アース (水平同期)	13	水平同期入力 [出力] (コンポジット H/V 同期入力)
6	アース (Red)		
7	アース (Green)	14	垂直同期入力 [出力]
8	アース (Blue)	15	DDC CLK [NC*]

\* 何も接続しないでください。

### 端子:PC 制御 (D-sub 9 ピン)



1	NC*	6	NC*
2	TXD (データの送信)	7	NC*
3	RXD (データの受信)	8	NC*
4	NC*	9	NC*
5	GND	* 何も接続しないでください。	

#### Note

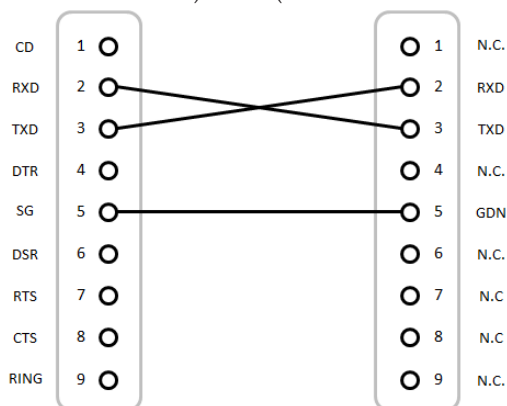
❖ 制御コマンドについてはAV仕様書を参照してください。

## PC 制御端子の設定

項目	設定
通信方法	非同期通信
ボーレート	9600
データビット	8 ビット
パリティ	なし
停止ビット	1
フロー制御	なし

## PC 制御端子の信号接続

コンピューターシリアルポート (D-Sub 9 ピンコネクター)      本機 PC 制御端子 (D-Sub 9 ピンコネクター)



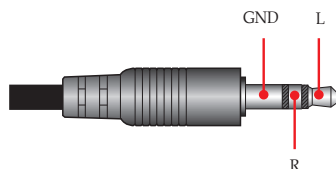
### Note

- ❖ D-sub 9ピンコネクターのシェルは接地されています。市販のクロスケーブルをご使用ください。

## 端子: 音声入力/音声出力

### Note

- ❖ プラグイン電源には対応していません。



## 仕様

商品名		RICOH PJ WUL6670		RICOH PJ WUL6680	
方式(解像度)		単板DLP®方式(WUXGA)			
寸法(WxDxH)		486 x 376 x 150 mm (突起部除く)			
質量		約 12kg		約 13.5kg	
入力端子		<ul style="list-style-type: none"><li>• HDMI 1 (HDMI 2.0 / DHCP 2.2)</li><li>• HDMI 2 (HDMI 1.4 / DHCP 1.4)</li><li>• コンピューター入力(ミニD-sub 15pin)</li><li>• 音声入力(3.5 mm ステレオミニジャック)</li><li>• HDBaseT 入力</li></ul>			
出力端子		<ul style="list-style-type: none"><li>• HDMI 出力</li><li>• 音声出力(3.5 mm ステレオミニジャック)</li><li>• 5V/1.5A (USB タイプ A)</li></ul>			
制御端子		<ul style="list-style-type: none"><li>• リモコン入力(3.5mm ステレオミニジャック)</li><li>• LAN (RJ45)</li><li>• PC 制御 (D-sub 9 ピン(RS232C))</li></ul>			
スピーカー		10W x2			
光源寿命		20,000 時間			
画像サイズ		80型～180型		80型～200型	
投写距離	テレ	2.6～6.0m		3.5～8.7m	
	ワイド	2.1～4.8m		2.2～5.5m	
投写距離比 (距離/幅)		1.22～1.53		1.25～2.0	
ズーム比		1.25倍		1.6倍	
ズーム/フォーカス		電動		電動	
騒音		標準モード:30dB(A) / エコモード:25dB(A)		標準モード:34dB(A) / エコモード:27dB(A)	
動作/保管環境		<ul style="list-style-type: none"><li>• 動作温度:0 ～ 40 °C、湿度85%以下(結露なきこと)</li><li>• 保管温度:-10 ～ 60 °C、湿度90%以下(結露なきこと)</li></ul>			
消費電力		<ul style="list-style-type: none"><li>• 標準モード:最大 470W</li><li>• エコモード:最大 235W</li></ul>		<ul style="list-style-type: none"><li>• 標準モード:最大 620W</li><li>• エコモード:最大 310W</li></ul>	
電源		100VAC 50/60Hz			
待機電力		0.4W 以下			

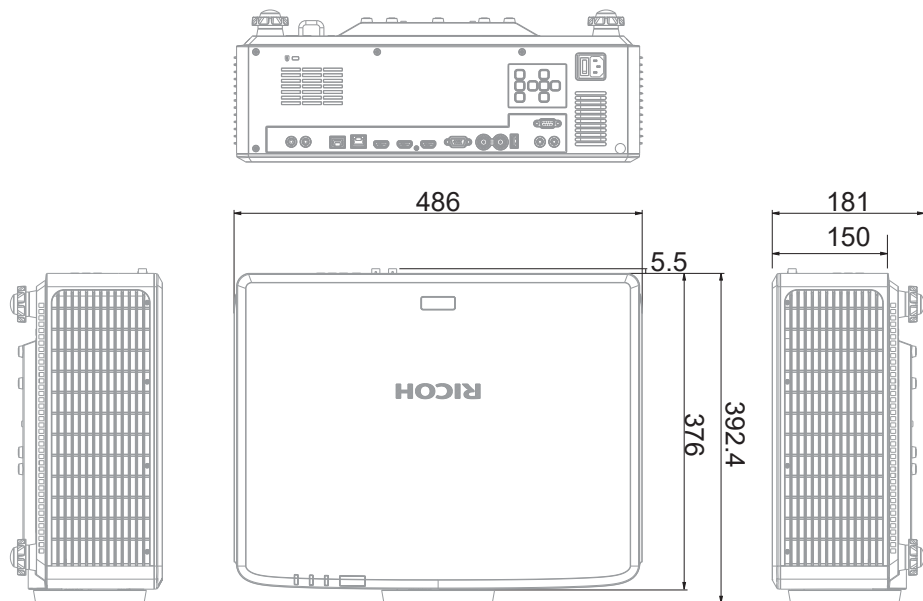
### Note

- 設計および仕様は、予告なしに変更される場合があります。
- 将来追加される可能性のある機能や仕様と互換性がない可能性があります。

## 外形寸法

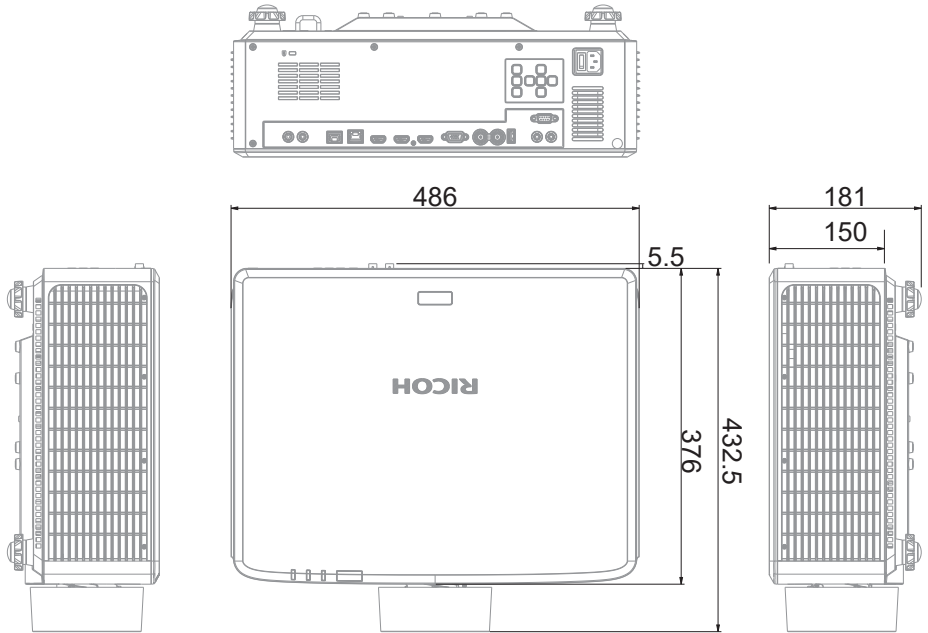
単位:mm

RICOH PJ WUL6670



単位:mm

RICOH PJ WUL6680





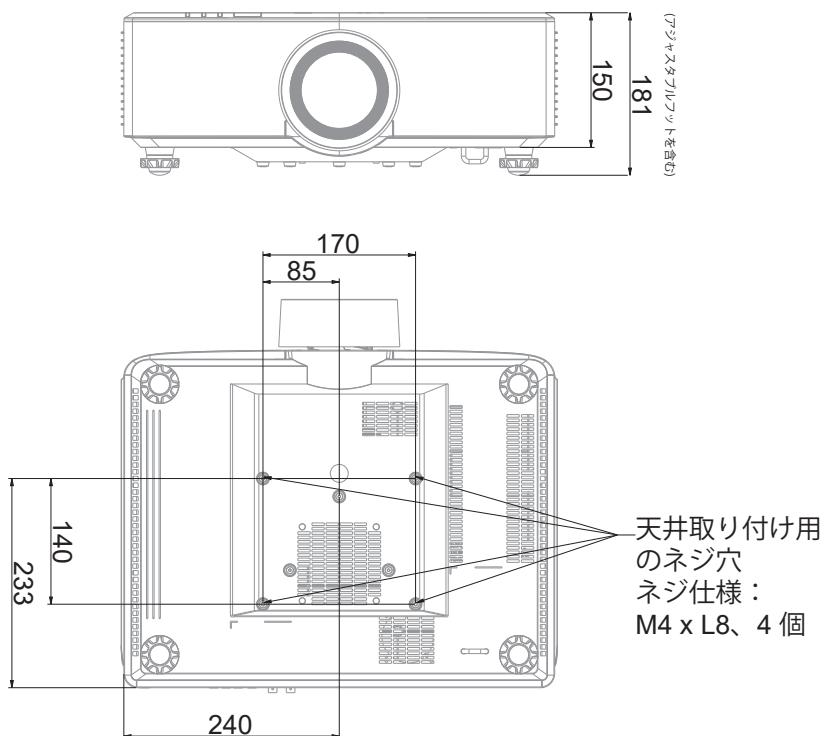
## 天井への取り付け

単位:mm

必ずRICOH PJ 天吊り用金具タイプ2を使用して取り付けてください。

- ネジの種類:M4\*4 個。

- 最大ネジ長さ:8 mm



## 著作権

本製品には、オープンソースソフトウェア、およびサードパーティー製ソフトウェアが使用されています。それらの著作権に関する情報は、本機のウェブページのSoftware Licenseから確認できます。(ウェブブラウザで本機を制御する(66ページ)を参照してください。)

また、次のURL からソースコードの閲覧、ダウンロードができます。  
[http://www.support-download.com/bb/html/dr\\_ut\\_e/oss/index.htm](http://www.support-download.com/bb/html/dr_ut_e/oss/index.htm)

- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)
- This product includes cryptographic software written by Eric Young ([ey@cryptsoft.com](mailto:ey@cryptsoft.com))
- This product includes software written by Tim Hudson ([tjh@cryptsoft.com](mailto:tjh@cryptsoft.com))

## 商標

- DLP は、Texas Instruments の商標または登録商標です。
- Chrome は Google LLC の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Microsoft Edge は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。
- Firefox は、米国およびその他の国における Mozilla Foundation の商標です。
- HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- Kensington は、ACCO Brands の商標または登録商標です。
- Blu-ray は Blu-ray Association の商標です。
- Extron は米国の Extron Electronics, Inc. の登録商標です。
- AMX は米国の AMX LLC の登録商標です。
- PjLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。
- このユーザーズマニュアルに記載されたその他の製品と会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標の可能性がありません。



## ■ 消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売担当者にご注文ください。

<http://www.ricoh.co.jp/office/supply/index.html>

## ■ 保守部品について

補修用性能部品及び消耗品の最低保有期間は、本機の製造中止後、7年間です。

したがって、本期間以降は、修理をお引き受けできない場合があります。

## ■ 故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、販売担当者にお問い合わせください。

修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。

転居の際は、販売担当者にご連絡ください。転居先の最寄りの販売担当者をご紹介します。

## ■ 操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「リコーテクニカルコールセンター」にお問い合わせください。

イデイチイチ

**0120-892-111**

●受付時間:平日(月～金)9時～17時(土日、祝祭日、弊社休業日を除く)

●お問合せの際に機番を確認させていただく場合があります。

※お問合せの内容・発信者番号は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただいております。

※受付時間を含め、記載のサービス内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

<http://www.ricoh.co.jp/contact/index.html>